

が選ばれた。その委員会の任務は『職業別支部を有する中央集権的ノールウェー全国組織』の規約を作り上げることであつた。中央集権化のこの問題はまた、その形式は多少異つてゐるにせよ、チ、コ、ス、ロ、ヴ、キ、アに於いても論議された。こゝでもまた一つの統一組織を作るべしと云ふのであつて、その案は大體ノールウェーの案と一致してゐる。これは決して偶然の事ではなく、同一の原因によつてゐるものである。非常に巧妙に組織された敵との闘争に於いて、労働者階級はその勢力を最後の一人まで包括しなければならなくなつてゐるのであり、この中央集権案は日常の要求に適應してゐるのだ。だが事は今迄の處、案の完成といふ處までより進展してゐない。これも已むを得ないことである。といふのは労働組合運動の現在の發展段階に於いては一つの統一組織を創ることは不可能だからである。かゝる中央集権は労働組合運動發展の終局段階を表すものなのである。今日ではせい／＼二三の過渡的形態が可能性を有つてゐるだけだ。何故ならば絶頂點に達した中央集権といふことは革命的労働組合の内部にある保守主義自身と衝突するからである。この理由に因つて、労働組合の再組織の問題は最大の慎重さを以つて取扱はれなければならない。この再組織は突然の飛躍によつてではなくてたゞ段階的にのみ、一部協同組合的な、一部産業別的な獨立組合より、統一的金庫と統一的裝置とを有する統一的中央組織への再組織が可能なのである。

第二番目のグループをなしてゐる諸問題、これは大會の特別な注意を要求してゐるものであるが、

これは革命的少數派の今後の活動の形態及び方法に關する問題を含んでゐる。プロフィンテルンの活動は各國に於いて種々相異つた、特殊的な組織的表現を發見した。例へばドイツでは改良主義的組合内のフラクシヨンの外に更に特別な独自の革命的組織が存してゐる。イタリアでは活動の主力はフラクシヨンに集中されてゐる、そのフラクシヨンは殆ど總べての産業部門にあつて、可成り成功的な闘争を行つてゐる。イギリスでは組合に於ける反對派は一切の革命的分子を糾合してゐる。組織的にはその形態は未だ完成されてゐないしまたあまりに不明瞭である。アメリカでは「労働組合宣傳聯盟」が創立された。これは主としてアメリカ労働總同盟で活躍してゐる。その外に尙獨立の諸組合がある。「労働組合宣傳聯盟」の任務はアメリカ労働組合運動の總べての革命的分子を、アメリカ労働總同盟に所屬するか否かを問はず總べて糾合することにある。たゞこの方法に於いてのみ、この聯盟は、アメリカ労働者運動の當面してゐる任務を果たし得るのである。

この問題は、二つの平行的組織——改良主義的と革命的との——が存在してゐる各國に於いては、もつと錯雜してゐる。これはフランス、スペイン、スウェーデン、オランダに見る所である。多分チ、コ、ス、ロ、ヴ、キ、アでも間もなくさうなるだらう、こゝでは改良主義者が全力を擧げて分裂に努力してゐるのだ。こゝいふ國では吾々はどういふ活動をしなければならないか？ これ等のうち、或る國々では革命的諸組織全體がプロフィンテルンに加盟してゐる。又或る國々では革命的諸組織が吾々と對立し



てゐて、たゞこの組織の少数派のみが吾々の側に立つてゐる。革命的諸組織がプロフィンテルンに加盟してゐる國では、革命的分子の任務は、改良主義的組織の組合員に影響を與へることである。一般的にはプロフィンテルンの所屬員、特殊的には共產主義者は、改良主義的労働組合に於いて系統だつた活動を展開し、そこにグループや細胞を形成しなければならぬ、また労働組合乗取りの闘争をなし得る限り、即ち組織が官僚主義者に唆のかされて分裂し、反対派分子が逐ひ出されるといふことがない限り、乗取り闘争を続けなければならぬ。プロフィンテルンの革命的組織が除名されてゐない處では、「プロフィンテルン」加入に賛成する少数派は、改良主義的労働組合内部の少数派と密接な共同活動を行つて組合を乗つ取るといふ任務を負ふものである。一國に於けるプロフィンテルン所屬員の活動を總括するには、色々の組織形態があり得る。例へばドイツでは反対派の最も重要な核心は古い組合内部にあるのだが、こゝでは専門的な活動委員會がこの反対派の代表者及び獨立の組織の代表者から形成されてゐて、これが全ドイツのプロフィンテルン所屬員の活動を同格化するのである。イタリアでは、一般労働總聯合内の共產主義的少数派とイタリア・サンディカリスト同盟内のプロフィンテルン所屬員との間には實踐的一致が見られる。プロフィンテルンの所屬員——サンディカリスト及び共產主義者——は統一の方針を作り上げ、この方針が兩組織内に於て遂行されるのである。之と相似た交互關係はスペインで、全國労働總聯合及び一般労働者同盟内のプロフィンテルン所

屬員間に見られる。兩組合でプロフィンテルン所屬員は分離して組織されてゐるが、彼等は行動の同格化及び統一の方針の完成の爲に「合同委員會」を持つてゐる。大會は、最近數年間の經驗に適應した實踐的結論をこの經驗から引き出し、これまでまだ右の様な結合をするに至つてゐない各國に於ける反対派を合同する形態を指示してやる義務を負つてゐる。

更に重要な點と成つてゐるのは、プロフィンテルンに加入してゐる個々の組合と當該國際産業別組合との將來の關係の問題である。現存の職業別インタナショナルはプロフィンテルン加入の組合を系統だつて除名してゐることは周知のことである。それで例へばロシアの金屬労働者、印刷労働者、紡績、建築、木材、郵便、及び電信労働者等々の組合は除名されたのである。革命的労働組合は幾回も國際産業別組合へ加入を許可される様に努力したが、常に失敗に終つた。それで、國際宣傳委員會から新しい革命的國際産業別組合の創設へ移り進まうといふ問題が起つたのである。だがこのことは、直ちに全産業部門に就いて行はれ得ることを意味するか？ また行はるべきことを意味するのであるか？ 決してさうではない。國際産業別組合は魔法の杖で以て一瞬間に出て來るものではない。全産業部門に普遍妥當する様な決定を作ることは許されないだらう。インタナショナルは、革命的分子が十分に確固眞實な基礎を有する場合にのみ建設し得るものである。進歩の遅れた産業部門のために活動展開の爲に何等かの過激的形態を見付け出さなければならぬ。同一決定を全産業部門



に適用し得ないことは明らかである。問題を各組合に就いて特別に論議し、また闘争能力ある産業別組合を創設することは、一つの赤色労働組合インタナショナルの組織よりも困難であることを考慮しなければならぬ。自分に課せられた任務に直面して誤ることなく完全に處することの出来る組織を作る爲には、更に一つの大準備活動が必要である。

大會は尙その他多くの組織問題を取扱はなければならぬであらう。それには次の問題が入つてゐる。財政、労働組合新聞、情報活動の完成、プロフィンテルン加入組織と共産黨との交互關係、等々。總てこれ等の問題は實踐的な解答を求めてゐる、といふのは吾々の組織的構造の原則的問題は既に第一回大會に依つてその解決を見出してゐるのであり、當該決定の變更は蛇足に過ぎないからである。

#### 四 労働組合運動に於ける統一のための闘争

昨年は特に分裂、除名沙汰が多かつた。自分等の影響が次第に弱くなるのを感じてゐるアムステルダム一派は總ての革命的分子を徹底的に労働組合から除名し始めた。この戦術は個々の國でそれぞれ特質を有したのであるが、總てこれ等の行爲の意味は同一なものである。プロフィンテルンの代表者に宣戦布告され、改良主義者は彼等に對して計畫的な攻撃政策を行つてゐるのである。例へばド

イツでは、改良主義的労働組合指導者は、組合指導部の選挙が共産主義者に有利な結果となるや否や直ちにその選挙を取消すのが通例となつてゐる。その際、プロフィンテルン所屬員が責任ある地位を手渡すならば、全地域グループの解散をすらやり兼ねないのである。チコスロヴァキアのアムステルダム一派はもつとのさばつてゐる。こゝではたゞ労働組合大會でプロフィンテルンとの思想的連帯を表明したといふたゞそれだけで幾千の労働組合員が除名された。アメリカに於てもプロフィンテルン所屬員に對して宣戦されてゐる。イタリアからも同様な情報が來てゐる。つまり吾々は文字通りにプロフィンテルンに對する國際的出兵に直面してゐるのである。その出兵の目標とするところは革命的労働組合運動の根源を突かうと云ふのだ。このやうな事情の下にあつては何を爲すべきであるか？プロフィンテルンがこの激増する除名沙汰を眼の前にして、受身の姿勢で居られないことは明かである。プロフィンテルンとしては、その所屬員が労働組合に於てその立場を代表する権利を奪はれ、革命的労働者が自分の組織内に於て保護を受けなければならぬ者扱ひされることを許しておくことは出来ぬ。大會はこの問題に關し慎重な對策を講じなければならぬし、どの打撃に對しても攻撃を以つて答へるであらう。プロフィンテルンは、労働組合運動に於ける統一のスローガンの下に活動を行ふのである。これは吾々にとつては決して空咆え文句ではない。最近行はれた分裂とその原因とを注意深く研究すれば分る様に、その原因が常に、改良主義の、少數派たらんことに對する恐怖にあるのだ。



だがプロフィテルンの所屬員は、全力を擧げて分裂に對して鬭争し、労働組合運動の統一を擁護することによつて、自分等は分裂を恐怖するものでないといふことを表明しなければならぬ。彼等はその勢力分散を我慢する譯には行かない。改良主義者の戦術が革命的勢力の弱体化、最良分子の除名へと進むならば、正にその爲に労働組合運動の統一が支離滅裂にされ、そしてプロフィテルン所屬員は特別の組織を作ること餘儀なくされるのだ。何故なら、さもなければ彼等は反動の打撃の下に完全に瓦解する危険に脅かされるからである。大會は疑もなく除名反對鬭争の爲に斷乎たる形で態度を決めるであらう。大會は總ての被除名者の復歸を要求し、また之以上の除名を我慢する意志が毛頭もないこと、改良主義者が革命的労働組合から除名することを許さぬことを公然と聲明するであらう。この戦術を今後更に適用する時に總ての國で平行的組織の創設を來すといふことをアムステルダムは知ることがし。

## 五 物價騰貴と失業

この具體的且つ實踐的な問題は近頃總ての國の革命的労働者の代表者によつて論議されてゐる。既に第一回大會はこの問題を取扱ひ、物價騰貴と失業との増大に對する鬭争の方法及び形態を示したの

である。吾々の提起したスローガンが革命的労働者間のみでなく、凡そ我儘勝手に増長してゐる資本に對して眞實に抗争せんとする者總てに反響を持つたことは、吾々の満足して確認出来る處である。だが第一回大會以來の問題は著しく尖鋭化した。一九二二年七月、失業及び物價騰貴の問題が總べての國の労働者を極度に刺戟したとすれば、現在はこの問題は遙るかにより意味深長な事柄になつてゐるのである。昨年は大衆貧窮化の時期であり、勞賃の組織的低下を伴つた物價騰貴増進の時期であつた。勞賃と最少限生活費との不均衡は益々大きくなり、失業は更に擴大しつゝある。失業者は嫌や嫌や乍ら労働市場に於て賃銀引下げ人の役割を演じ、資本は増大する經濟恐慌を利用して、戦争の結果を労働者階級の肩に轉嫁するのである。

物價騰貴と失業とに對する鬭争は、一般に革命的運動の發展の出發點である。これは改良主義的運動の弱點となつてゐる、何故なら改良主義組合は物價騰貴と失業とに對して何等實際的なことを行ひ得ないからである。最近數年間を通じ改良主義的労働組合はたゞの一度も、常に増進する物價騰貴に對し、失業に對し眞面目に鬭争したことはなかつた。改良主義は現在の資本主義制度の一結果たるこれ等の現象に對しては無力である。この制度に觸れることを彼等は敢へてしようとしなないのだ。プロフィテルン所屬員にとつては物價騰貴及び失業に對する鬭争の主眼は次の點にある。即ち經濟恐慌及び失業の結果を支配階級に負擔させること、特別な行動委員會及び輸出入に對する統制機關を作る







限り空文句に過ぎない。だが、個々の國々の労働者とその資本家と結び附いてゐる時には、どうして行動の統一が達せられるか？ イギリスの日和見主義者がドイツの労働者とよりも自國のブルジョアと親しいならば、またドイツの改良主義者がイギリスまたはフランスの労働者とよりもすつとすつとドイツのブルジョアと親しいならば、例へばどうして鐵業従業員のゼネラル・ストライキが出来るだらうか？ 宣戦布告の眞つ初めの日から改良主義者が再び自國のブルジョアの旗の下に結集し、××××を説教するだらう。これは少しの疑もないことである。だから軍國主義及び帝國主義に對する闘争は×××の觀念と密接な關係がある。ブルジョア的な×××の立場にある者は軍國主義に對して前進することは出来ない。單に形式的に結合した諸國から成立つ様なインタナショナルは帝國主義戦争に對して何等のことも爲すことが出来ないのである。

ブルジョアはどんな決議をも恐れない。手段はたゞ一つあるばかりだ。「×××に對する戦争」のスローガンを實現するのだ。それはまたブルジョア的、アジイ、×××、×××である。

### 植民地—及び半植民地—諸國に於ける労働組合運動

労働組合運動は最近迄その國際的性質がまことに不十分であつた。アムステルダム・インタナショナルも國際産業別組合も、共に主としてヨーロッパのインタナショナルであつた、ヨーロッパ以外の國ではたゞアメリカの二三の労働組合を包含しただけで、近東極東の労働者運動と全く何等の結び付きもなかつたのである。だが正に最近數年の特徴は植民地及び半植民地諸國に於ける労働者運動の飛躍的生長といふことなのである。今日では地球の何の隅でも、鋭い階級闘争が猖獗し、プロレタリアートの労働組合組織の存在してゐない所はない。最近數年間、印度の労働者組織、オランダ領東印度、支那、×××等々の革命的労働組合が思ひも及ばぬ程の發展をした。従つてプロフィンテルンに課せられてゐる任務は、近東極東及び植民地の労働組合を×××プロレタリアートの陣列へ引き入れることである。この活動分野はまだ處女地である。その國が遠く隔つてゐるとその特有な文化のために、有色労働者の運動に對して、多くのヨーロッパ労働者の間にすら一種の輕蔑が行はれてゐる。印度、

アフリカ、支那等々の労働組合を輕視して、たゞそれを談ずる際に手際悪く隠してゐるに過ぎない様な革命的労働者すらあるのだ。ヨーロッパ労働者のかゝる自惚れは革命的組合の方で徹底的に克服しなければならぬ。自國のブルジョアが植民地半植民地諸國の労働者を搾取してゐる様な國々の労働者運動には、特に重大な任務が課せられてゐる。この點に關してイギリス、フランス、アメリカ、×××の労働者は一つの重大な任務を解決しなければならぬ。この問題の意義を過少評價することは誤謬である。何故ならば來るべき年は太平洋沿岸に於ける新闘争を胎んでゐるからである。そして若しこ







## 結 論

上述の諸問題を要約すれば分るのであるが、第二回大會は重大な實踐的な仕事を遂行しなければならぬだらう。根本的な原則的な諸問題は第一回大會に於て決定された。來るべき大會は十五ヶ月間の闘争経験を反省し、然るべき實踐的な結論をそこから引き出さなければならぬ。原則的な問題が大體に於て既に解決されてゐるとしても、實踐的問題に就いては未だ多くのことを仕上げなければならぬのである。上述の諸問題の外に大會はまた、プロフィンテルンの機關の改善、個々の國々との聯絡の形成の問題をも取扱はなければならぬであらう。プロフィンテルンは未だ非常に若い組織である。それは最初の一年は國際労働組合評議會の名の下に存在した。だが結晶的中心としては、國際的革命的労働組合運動の中心點、旗印としては、そして最後に組織としては、プロフィンテルンは漸やく九十五ヶ月間存在して來たのだ。この期間全世界に於て如何なる活動が遂行されたかを検討するならば、吾々は大胆に主張することが出来る。勞役大衆の結集のために大きなことが爲された。だがこの遂行された活動も、吾々に尙迫つて來る爲すべき仕事に比すれば消えてなくなる程小さいものである。第二回大會はそれ故に、活動範圍を擴張し、新しい勢力を引き入れ、吾々の組織の規模を擴大し、より早い歩みを以て、目指す目標——×××××——×××××なければならぬ。

## プロフィンテルン第三回大會を前にして

——「ローテ・ゲヴェルクシャフツ・インテルナチオナーレ」誌、

一九二四年、第六號所載論文——



### 國際労働者運動における轉向

國際労働者運動における轉向は、ほゞ一九二四年の初頭にあらはれた。その主要な特徴は、たゞに防衛を目的とする労働者の大衆行動ばかりでなく、また失はれた地位奪還のための一聯の攻撃でもあらる。この方面については、イギリスおよびドイツの大罷業が、また労働組合運動の復活といふ點に特にドイツ鑛山労働者ストライキが、重要な意義をもつてゐる。個々の國々においてもまた個々の産業部門においても、ブルジョアジーは讓歩を餘儀なくされ、イギリスやフランスでもこの例に洩れてゐない。このことは、労働者階級のなかにエネルギーが結集して、吾々が復活の段階に踏みこんでゐることを示す。資本の攻勢が終りを告げ、労働者の攻撃が始つたなぞと主張するのは確かに誤りであらう。吾々はたゞその最初の徴候を目睹するにすぎない。だから、どれほどこの復活の過程がつゞくかは、今日にわかに斷定し難い。だが次のことは明らかである。すなはちこの復活の過程はさらに前進して軋轢は深くなり、二三の國々、特にドイツやポーランドにおいては、恐らく激しい動搖に至るだらう。經濟鬭争、従つてまた政治鬭争のこの復活を吾々は、吾々の戦術を確定する際に眼中においてかゝらねばならぬ。革命的組合にとつて即刻的解決を要する一聯の新しい問題がおこつてゐる。現下



の状勢は、労働者階級をしてその政治的経済的活動を社会民主主義者および阿姆斯特ダム派組合に對しておこなふことを餘儀なくさせてゐる。いまや革命的労働組合はその將來の方向を熟慮して、たゞにブルジョアジーの抵抗ばかりでなく、國際改良主義の反抗をも粉碎するに適當な闘争方針を立てなければならぬ。

### 革命的労働組合運動の成長

最近數ヶ月間に、かなり重要な革命的労働組合運動の昂揚があらゆる國々に見られる。特にマクドナルド政府が労働大衆に、「官許」社会主義の實物教授をやつてゐるイギリスにおいて、さうである。イギリスの鑛山、金屬、運輸、木材労働者のあいだに、プロフィンテルンの加盟者の影響は激増してゐる。プロフィンテルンの加盟者であるクックが、イギリス抗夫聯盟の書記長に選舉されたのも偶然ではなく、労働組合運動の一聯の左翼的指導者たちがイギリス共産黨の今次の大會に際して、メッセーヂを送つたのも偶然ではない。數十年の間、政治については何物をも知らうと欲せず、またマクドナルドが事實、平和裡に、激變もなく内亂も起さず、政治的経済的權力を獲得するものと考へこまされてきたイギリスの労働大衆は、いまや労働者政府のこの漫畫に就いて正しい考へをもつやうにな

つた。かくしてマクドナルドが吾々の利益のために働くのは、かれの意思に反するところである。阿姆斯特ダム・インタナショナルの議長、現イギリス植民大臣、イギリス帝國主義の守護神、トーマスの場合でも同様な結果だ。ストライキに對する労働者政府や労働者指導者たちの態度、かれらがドル箱に與へてゐる援助は、大衆の間に大きな失望を呼び起さずにはゐなかつた。この改良主義に對する疑惑は、労働者階級の吾々の側への移行を意味するのみである。

同様な左翼化は、吾々はこれを改良主義が徹底的にその役割を勤め果したところのフランスに見ることが出来る。改良主義はその運命を左翼プロックの運命に結びつけ、左翼プロックからあらゆる社会問題の解決を期待してゐる。しかもなほ、フランスの改良主義は選舉人大衆に勢力をもつてをり、おくれた労働者はかれらに追隨し、それゆゑ改良主義は保守的勢力としての尊敬を克ちえてゐる。しかも吾々の闘争の意味からすれば、それはとるにたりない。すなはち、企業家たちは、前からもうそれに期待をかけてゐない。以前には少くともジョー・ホースまはじめに採用したやうな素振りを見せてはゐたが、今日、かれらは公然と宣言する。この饑舌はかれらにとつて全く暇つぶしなものだ。だから、かれらはなにかまじめなことをやつて、最もおしやべりで、空虚で感傷的な阿姆斯特ダムの雄辯家たちの仲間にならぬ方が、身のためだらう、と。それゆゑ統一労働總同盟は、先月まじめなカムバーニヤを遂行し、相當注目すべき大衆を引きよせることができた。それは確かに、すべてを遂行す



ることはできなかつた。がしかし、それはたゞ統一労働総同盟内のアナ系分子の反抗によるのであつて、この連中の『革命的精神』といふのは、兩者の間に横槍を入れて改良主義の利益のために全力をあげて革命的労働者運動を打破せんとすることにあるのだ。

ドイツでも、労働者は動揺してゐる。十月十一月の敗北は、労働者階級の列伍に混亂を持ち込んだが、その影響は豫想外に些細なものであつた。既に二月三月四月に一聯の容易ならぬ階級衝突が起り、その際、労働者はたゞに資本主義に對してばかりでなく、改良主義に對してもまた闘争する用意のあることを示した。

同様なことは、イタリヤやその他多くの國々においても見られる。

イタリヤ、ドイツ、フランスにおける選挙は、労働者のこの氣持を證明してゐる。共産黨は、特にドイツやフランスにおいて、多大な投票數を獲得したが、これは大衆の不滿と革命的潮流の昂揚とを反映するところの現象である。共産黨が公然と姿をあらはしてゐない國々および産業部門においてすら、革命的労働組合運動はプロフィンテルンの旗に従つてゐる。もつとも、この成行はかうなるより仕方ないのだが。

### アムステルダム派の崩壊

アムステルダム・インタナショナルおよびそれに加盟の諸組織における崩壊の現象は、最近増大してゐる。アムステルダム系の労働組合は、なかんづく、組織的危機に逢着した。特にこれはドイツの労働組合運動に鋭くあらはれた。組合員の喪失は百萬をもつて數へられる。同時に、金融恐慌が勃發したが、その最たるものはドイツであつた。アムステルダム・インタナショナルにとつて最も憂慮すべき現象は、所屬組合の政治的衰頹である。最近五六ヶ月におけるアムステルダム派の活動をみるに、その主要特徴として確かめられることは、指導者たちがますます公然とファシスト的な罷業破りを自認してゐるといふ事實である。全く公然とこの役割が、ドイツのアムステルダム派によつて演ぜられ、また他國の改良主義者たちによつては秘密に行はれてゐる。ドイツでは最近の經濟闘争においては、労働者は絶えずブルジョアジーとかれらの指導者とに對して、闘争せねばならなかつた。この事情は、すでに永らく、アムステルダム・インタナショナルの卒伍のなかに醗酵してゐた不滿を尖鋭化し、その具體化は左翼の結成となつて現はれ、それはウィーンにおけるアムステルダムの最近の大會で右翼と抗争しなければならなかつた。皮相的に觀察すると、ウィーン大會での論争は再整理の問題、およびアムステルダム・インタナショナルと國際産業別書記局との交互關係を中心にしてゐるやうに思はれる。しかし、事實、組織問題は相當重要な政治的見解の相違をそのうちにもつてゐる。アムステルダム・インタナショナルの左翼（運輸労働者、食料労働者、被服労働者など）は、國際産業



別書記局に對して、革命的労働組合との統一戦線確立のための自主権を要求する。阿姆斯特ダムの指導者連中はこれを無條件に拒絶する。だから結局、問題になつて來るのは、一つの政治的な争ひ、すなはち、誰れと統一戦線を張るべきか、左翼労働者と張るか、左翼ブルジョア、アジトとか、といふことである。吾々は右翼が勝つたらうと確信する。だが、左翼化してゐる労働者は、ながく阿姆斯特ダム内の罷業破りたちの獨裁に満足するものではない。であるから、右翼の勝利は、言葉の眞の意味において、ウィーン大會席上での一時的勝利となるだらう。

### 革命的労働者に對する迫害

阿姆斯特ダム労働組合の首領たちが右翼に轉ずると同じ程度に、かれらの革命的労働者に對する態度は、ますます冷淡な、和解し難いものとなる。労働組合は共產主義的分子から淨化されねばならぬ！と。ドイツ・阿姆斯特ダム派のスローガンはいふ。十萬の組合員中、その半數が共產主義者であるよりか、五萬の忠實な組合員をもつてゐる方がましだ！とドイツの阿姆斯特ダム派は述べかつ書いてゐる。總じてドイツでは闘争が最も鋭く行はれてをり、そこでは社會的對立が露骨に尖鋭化してゐるため、あらゆる對立が極端に苦々しく感じられ、あからさまな闘争の性質を帯びてゐる。

しかしこれは、なにもドイツに限つた現象ではない。改良主義者の頑張つてゐるところでは、どこでも、かれらは同じ方針を固守してゐる。阿姆斯特ダム派は、この數ヶ月、プロフィンテルンおよび革命的労働組合に對して特に死物狂ひの競争戦をやつてゐる。プロフィンテルンは鬼子だとか、極罪の化身だとかいふことは、吾々のよく知り抜いてゐるところである。だが、改良主義者は最近特に、恐怖すべき風評を廣めんと躍氣になつてゐるようだ。このことは、革命的な運動が成長し、かれらがまだその暖い席にかぢりついてゐようと焦慮してゐることを證明してゐる。この事から、革命的労働者に對する彼等の神経過敏や彈壓も理解される。

除名や分裂が日程に上つてゐる。阿姆斯特ダム派は、たゞ金庫や組合機關を確保せんがために萬事氣をくばつてゐる。労働組合がかれらにとつて意味をもつてゐるのは、たゞかれらがうまく幹部におさまりかへつてをられる限り、さうした場合、またその程度においてだけである。改良主義者の反共產主義關係における氣狂ひじみた迫害の最も顯著な例は、疑ひもなくゴムバースである。かれは確かに、阿姆斯特ダム・インタナショナルとは別に直接な關係があるわけではない。しかしながら、この尊敬すべき反動の代表者の胸には、すでに以前から阿姆斯特ダムの指導者たちが宿つてゐた。しかも、かれは労働者運動における急進主義に對する方策協議のため特別會議を招集した。阿姆斯特ダムとゴムバースとの相違は、ゴムバースは思つたまゝを公然といふのに、ジ、オ、リ、ベ、イ、オ、



ゼーの諸君は卑しい考へを綺麗な文句で包むといふことにあるのだ。アムステルダム・インタナショナルのこんどの大會は、その本質上、ゴムバースによつて招集された會議と同一の様相を呈するだらう。すなはち、吾々はそれを反共産主義的な會議として取扱はねばならぬ。確かに、こゝでは他の闘争スローガンは強調されないだらう。改良主義の生ける屍どもは、共産主義インタナショナルおよびプロフィンテルンに對する憎惡を保持するだらう。

### 労働組合の破壊か、獲得か

吾々は再びこの問題を取上げねばならぬ。しかも、アムステルダム派の罷業破りの役割、かれらの二三の國々における、主としてドイツにおける、革命的労働者に對する破廉恥な態度は、全く腐れ果てた組合から脱退するのが當然だといふ見解を代表する潮流を呼びおこしてゐるのだから。すでに一九一九—二〇年に、この問題はドイツ労働者運動に起つてゐる。確かに當時、アムステルダム派の首領たちは、それほどひどく没落してはゐなかつたが、すでに首のどこまで汚物のなかに没してゐたのだ。周知の如く、ドイツ共産黨は、この問題のためにハイデルベルクの大會で分裂した。多數派は組合の破壊に賛成であつた。が、このために組合はなんら損害をうけなかつた。ドイツの共産主義的

労働者黨こそ悲惨な目にあつた。これに反して、コミンテルンおよび特にレーニンの影響の下にあつて正しい労働組合の線を歩んだ少數派は、共産主義的大衆黨になつた。吾々の任務は、アムステルダムの首領たちが恐らくもつと下劣になるだらうことについての、道徳的感傷的評價のために自己を見損はないことである。何人も、これに對して異存はなからう。しかし、脱退にはなほ距離がある。労働組合の乗つ取りは、金庫や或は労働組合事務所の乗つ取りではなく、労働者層の階級意識の奪還である。吾々の目標は、大衆を改良主義的なイデオロギーや戦術から解放することなのだ。この戦術により吾々が少しも得るところなしといふのか？ また今日、プロフィンテルンに従つてゐる數萬の労働者が吾々の側に引きつけられたのは、この戦術によるのではないとでもいふのか？ 吾々がアムステルダム派の挑戦に應じるならば、それは非常な誤謬であらう。アムステルダム派の戦術は、どうかして吾々の戦術から逃れることなのだ。かれらは次のやうに考へる。革命派が成長してきた。いまうまく、かれらを除名しないならば、二三月のうちに組合はかれらの手に落ちるだらう。しかし分裂政策の非難をうけないためには、吾々は憎むべき組合に對するかれらの自尊心を傷け、脱退を餘儀なくするやうに挑戦しなくてはならぬと。従つて、個々の組合員や全グループの脱退、或は労働組合のメンバーにアムステルダム・インタナショナルに對して文字通りの忠誓をなさしめようとする無理な要求などもうなづかれる。もし吾々がアムステルダムの挑戦に乗せられ、かれらの仕事を樂にしてや



るとすれば、吾々は悪しき革命家、悪しき共産主義者となるだらう。否、アムステルダム派はなにをやらうと、吾々は組合に踏みとどまつて大衆への影響を戦ひ、しかも労働組合内の一切の裏切者や背教者共の手も足も出ないようにしなければならぬ。

### 労働組合運動統一のための闘争

この目的は吾々が、絶えず労働組合運動統一のためにひるまず精力的に戦ふときにのみ達しうるのである。こゝに、革命的労働組合運動の形態がさまざまであるために、吾々にとつて非常な困難が生ずる。平行的な、労働組合の國別による統一と並んで、各國に分裂した組合や除名派の組合があり、そして當然なことだが、これらが常に新しいメンバー獲得に努めてゐる。ドイツにおいて、チ、コ、ス、ロ、ヴ、キ、アにおいて合衆國においてオ、ラ、ン、ダにおいて、約言すれば到る處で、次のことが問題になつてゐる。すなはち第一に、分裂した組合が存在してゐる場合、統一のための闘争はなほ繼續されねばならぬか？ 第二、獨立した組合はもとの労働組合内の少数派と、どんな相互關係に立つべきであるか？ 第三、各國においてプロフィンテルンの加盟者を包括する特別な機關を作ることが必要ではないか？ これら三つの問題のうち、第一の問題は、労働組合運動統一のための闘争を更らに遂行すべ

きか、或は公然と分裂の時期が到来してゐると宣言すべきなのか、といふことによつて最も容易に判断される。しかしながら、まさにこの問題において、ドイツ國內の意見は、甚だまち／＼である。ドイツには労働組合運動統一のスローガンは無用だと説く一群の同志達がある。何故に——と、かれらは云ふ——改良主義との統一が不可能に見えるときに、吾々が統一のために戦ふ必要があらうか？ なぜ、大衆の間に嫌悪と不信とを呼び起すにすぎぬやうなスローガンを掲げる必要があるか？ 結局、その労働組合に見切りをつけて、吾々の活動のために別な基礎を見つけないはならぬのだ（工場委員會）。

思ふに、統一のスローガンを棄て、そしてこの問題について改良主義者をして勝手にさせておくことは、吾々の側の根本的な誤謬であらう。統一のための吾々の闘争は、改良主義者が固く主張するように、デマゴギーではない。吾々は事實、統一を欲し、そのために努力してゐる。吾々と改良主義者との相違は、吾々が闘争のための統一を欲し、かれらが勞資協調のための統一を欲する、といふことにある、この相違たるや實に重要な性質のものであつて、國際労働者運動にとつて最も重大な意義をもつてゐる。統一のための闘争は、依然として吾々のスローガンでなければならぬ。平行組織のある諸國（フランスやチ、コ、ス、ロ、ヴ、キ、ア）においてすら特別の顧慮を拂つて全労働者階級の統一のための闘争を遂行しなくてはならない。なんとなれば、かゝる場合においてのみ、事實、大衆を糾合し、



かれらの行動に結びつけ、よつてもつて吾々の下に奪取することができるのだから。

### 國際産業別書記局

プロフィンテルンはその行爲によつて統一のための努力を示してきた。吾々がこゝで常に除名派の復歸のため、また分裂した労働組合の再統一のために努力したことは除外するも、吾々は絶えずロシアの組合の國際産業別書記局への参加を要求してきた。これが實現してゐないのは、その罪、アムステルダム・インタナショナルにある。アムステルダムは、代償として、ロシアの組合のロシア労働組合中央委員会およびプロフィンテルンから手を切ることを要求してゐる。かくて將來、いかなる戦術をとるべきであるか。この問題がアムステルダム・インタナショナルの大會における注目の焦點であるかぎり、にわかには吾々の方針を決定することは困難である。吾々の態度はウィーン大會の決議如何にかゝつてゐる。これに關して、二つの可能な場合が考へられる。アムステルダム・インタナショナルの少数派が勝利をうる、すなはち國際産業別書記局が獨立に革命的な労働組合の参加を決定しうる、と假定しよう。かゝる場合は、吾々の方針を繼續し、全革命的労働組合を國際産業別書記局に参加せしめるやう努力しなくてはならぬ。そしてこれが成功すれば直ちに、吾々は國際宣傳委員會を解散させ

るだらう。國際宣傳委員會は目的ではなく、目的のための手段たるにすぎない。各産業部門の全労働者が一つのインタナショナルに統一せられるや否や、當然、國際宣傳委員會のこれ以上の存続は無意義となる。これに反して、アムステルダム・インタナショナルが産業別書記局のこの自決権を無條件に拒否し、この會議の一般的な規程への從屬を要求する場合には、吾々はいかなる立場をとらなくてはならないか。吾々はいまゝで通り、無慈悲に、革命的労働組合の該書記局への参加を要求し、この目的が達せられるまで闘争を續けるのである。だから、國際宣傳委員會の存続如何は、完全にアムステルダム・インタナショナルの決議にかゝつてゐる。改良主義者の新聞より察するに、アムステルダム・インタナショナルはウィーン大會において、プロフィンテルンに對する大規模な攻撃を計畫してゐる。おめでたう！アムステルダムの指導者たちにしてノロマでないならば、四年前にプロフィンテルンは幽霊だといつたことを思ひ出すだらう。しかし、この幽霊が今日、かれらの平靜と安眠とを奪つてゐるのだ。かれらは、吾々に對して宣戰する必要があると考へてゐる。よろしい！かれらの大會は、その席上で二三のかなり重要な労働組合の支持をうけうる左翼の力が示されるに相違ないが、そのかぎりに於てのみ、吾々にとつて興味があるのである。

### 未組織の組織化



改良主義者たちの戦術は、あらゆる國々の労働組合員のかなり著しい退歩をもたらした。現在、吾々には、組合を脱退し未組織大衆の数をますます増大させてゆく數百萬の労働者について、これをどうすればいゝかの問題が生じてゐる。組織率の非常に高い二三の國々を除けば、大多數の労働者は労働組合の組織に入つてゐない。この方面で吾々の遂行すべき大事業のいかに困難なるかを知るには、三千萬の労働者、使用人中、わづかに四百萬しか労働組合に組織してゐないアメリカを指摘すれば充分である。しかし、ドイツ、イギリスにおいてさへ、失望して組合から脱退した數百萬の労働者があつた。どうしたら、これらの大衆に近づき、かれらを闘争に引き入れることができるだらうか？ かれらを未組織の状態にほゞつておけば、かれらはファシストやその他の國家主義諸組織の毒牙にかゝる危険がある。ドイツの同志たちは、これを解決しようと努め、しかもいまだなんら具體的な結果を収めてゐない。滑稽なことは、未組織大衆のために、新しい組織をつくり、或は並行的な組合を創立することを、あくまで主張することである。

これらの大衆を包括するためには、既存の組織形態の方がもつと手近かに、かれら大衆を吾々の影響下にもたすことができ、しかも、工場委員会の助力による解決ほど有効な解決法は考へえられない。工場委員会、統制委員会、争議中のストライキ委員会。これらは基本的な機關であつて、これを中心にあらゆる傾向の労働者は團結すべきである。たとえば、合衆國における場合の如く、なんらの

組合も存在してゐないような生産部門においては、殊に労働組合そのものゝ創設に直ちに手をつけねばならぬ。吾々の欲する目的を達することのできる一切の組織形態は、理論的には、善なりとみなされる。しかしながら、一般に現實的には、特別な新しい形態を適用することは全く不必要である。工場委員会、ストライキ機關の助けをかりることによつて、吾々は未組織労働者の信頼をかちえ、そしてかれらを組織されてゐる分子と組織的に結合することができる。

## 工場委員会

外見上、この問題は落着してゐる。しかしたゞ外見上にすぎない。吾々がいろんな國々における工場委員会の活動をもつと立ち入つて觀察するならば、一國の労働者は他國の經驗についてほとんど知らなかつたところなく、労働者階級の精神的煽動がほとんど利用されてゐないことがわかる。西歐における工場委員会は、胎兒の状態にある。工場委員会は、労働者運動統一確立のための機關であり、その職場の労働者の直接的代表者である。こゝでは精力と創意との最大限を展開することが必要である。かなり強力な工場委員会運動をやつてゐるドイツにおいてすら、この運動はなんら一貫した形態をもつてゐない。その他のオーストリア、イタリア、フランス、ポーランド、チェコスロヴァキアなどの如き國々においても同様である。フラン



スでは、工場委員會設立の第一歩が踏み出された。イギリスでは、この運動は起つてゐない。合衆國では、かゝる運動はまだ一般に存在しない。しかも、眞の革命的労働組合運動は、工場委員會にその基礎をおかぬかぎり、不可能である。すでにさきごろ吾々は、いかにして工場委員會を設立すべきか、全労働者は工場委員會選舉に参加すべきか否か、工場委員會はいかなる機能をもつべきか、に關して討議した。かゝる純理論的な見解の相違は、直ちに過去のものとなるだらう。いまや吾々は、絶對に實踐的な仕事をやらねばならぬ。工場委員會の即時的確立は、プロフィンテルンの加盟者の最も重要な任務である。特に、運動の分裂してゐる國々、一工場内の全員が二つ或はそれ以上の組合に所屬してゐる國々において然り。工場委員會を中心にして労働者大衆を集合すること、工場委員會を設立し工場の指導的機關にすること、工場委員會の協力範圍および權能を最も廣汎に擴張すること、工場委員會に經濟闘争の指導、行動委員會やストライキ委員會の確立をやらせること、工場委員會を一切の未組織者、婦人労働者および青年労働者の中央部に築きあげること、生産管理の準備のために工場委員會を、およびそれを通じて一般労働者を訓練すること。これらが、プロフィンテルン加盟者の簡単な、しかも最も重要な任務である。

### ストライキ戦略

最近、經濟闘争の方法に關する問題が、あらゆる問題の全面にあらはれてきた。闘争條件は、なかんづく、資本がこの組織を強力に確立し、労働者階級に對してかなり複雑した闘争制度を作りだしたために、より一層悪化してきた。昔の闘争形態は今日では無益である。自然生長的な運動は、素晴らしい組織された階級敵を相手どるようになってから、無力なことを暴露した。だが、労働者組織は、闘争條件や闘争方法の研究といふ意味からいつても、全く或はほとんど、何もやつてはゐない。たとへば、經濟闘争に對する二二三の一般的な規準を確立するために、なんらかの試みが企てられたらうか？ 吾々の知り抜いてゐることだが、純粹な經濟闘争なるものは決して存在せず、あらゆる經濟闘争は同時に政治闘争である。しかしながら、政治的階級闘争の領域においても革命的な世界運動の經驗を一般化せんとする試みは、ほとんどなされてゐない。さらにプロレタリアートの世界經濟闘争の研究に至つては、一層なされてゐない。吾々の時代後れは、どの程度に國家的帝國主義戦争が研究されてゐるかを思ひ浮べるならば、殊に明瞭にあらはれてくる。すべての非常に小さな戦ひですら、固き團結に全力をあげてゐる。吾々の時代から千年も前におこつた色々な戦ひですら、最も眞摯な研究の對象になる。ブルジョアジーは、戰略戰術問題に關する廣汎な文献を所有するところの多くの士官學校を建てた。幾千もの人間が戦法の基本特徴を習得する。吾々は經濟闘争指導の領域において、なにをもつてブルジョアジーに對抗しうるか？ 全くなにももないのだ。しかし社會的見地からすれば、大きな



階級衝突は、どんな戦争よりも比較にならぬほど大きな意義をもつてゐる。奉天の戦ひは人類のために、事實、一九二一年の百二十萬のイギリスの鑛山労働者の十三週間にわたるストライキよりも、もつと重大な意義をもつてゐるであらうか？ ドイツの鑛山労働者の現在の巨大な闘争は、*Yaeoschlacht*の戦ひよりも重要でないといふか？ これらの問題は、提出されれば直ぐに正しい解答は與へられる。吾々は経験に基いて、吾々の闘争を組織するために恐ろしいほど僅かのことしかしてゐない。インタナショナルの成員のうち、なんびともこの問題を一般に取扱つてゐない。この問題はいまだに日程に上つてゐない。しかも、この問題が、闘争条件の正確な研究を前提し、正しいストライキ戦略の完成を要求してゐるのに。これは確かに非常に困難である。しかし絶對的に必要なことだ。改良主義者は戦略問題に関心を持たない。なんとすれば、かれらは階級衝突を避けてゐるのだから。かれらは、歴史はあてにならない、巨大な社會的衝突はなくともすまされる、と信じてゐる。そして労働者階級の目的を咒文によつて達しようとして望んでゐる。これに反して、自己の力にのみ頼り、ブルジョアジーの左翼は右翼と同様にプロレタリアートの利害に敵對するものであることを洞察してゐる労働者運動の革命翼にとつては、すなはち吾々には、ストライキ戦術の問題は重要な問題として保留されてゐる。吾々は國際労働者運動の全經驗を集積しなければならぬ。吾々はまじめに特別な文献をつくり、戰略的規準を完成し、特殊學校の設立をはからなければならぬ。吾々はいまやすでに、革命的闘争のた

めに指導者の養成を考慮しなければならない。かれらは勝利の後には、社會主義建設の土臺石となるであらう。吾々はこゝで一つの全く新しい、しかもほとんど研究されてゐない問題、その問題が一定の實踐的結果をうるためには最も鋭く緊張した集團的な創意と集團的な意思とを必要とするところの問題を取扱はねばならない。

### 指導的闘争機關

前述の任務を解決するに當つての困難は、主として、吾々が理論と實踐とを闘争のなかにおいて絶えず確かめねばならぬ、といふことにある。吾々はプロレタリアートの政治闘争のみならず、その經濟闘争をも指導しなければならない時代にある。しかも非常に固くがつちりした組織を動かさうする國々においてばかりでなく、吾々が少数派である國々においても指導しなければならない。改良主義者たちはブルジョアジーの側に移行し、あらゆる一寸したストライキをも絞めつぶさうとし、しかも罷業破りさえも平氣でやるのだから、吾々の任務は、一切の不利益な關係などを顧慮することなく、闘争の先頭に立つことである。プロフィンテルンの加盟者たちが事件の進行とともに、指導的地位に立たされたことは、ドイツやイギリスなどにおける多數のストライキの示したところである。かれらは、



労働者階級の最も革命的な部分であり、労働者階級の前衛隊として先頭に立つて進まなければならぬ。かゝる事実のある以上、争議のすつと以前にストライキ闘争の指導機關はいかにして作らねばならぬか、といふ問題が非常に重要なものとなつて起つてくる。吾々はこの問題を無視し、もつて労働者階級のまじめな闘争を敗北の危険にさらしてはならぬ。なにをなすべきか？ いかになすべきか？ 経験は教へてゐる。闘争が激化した場合に、必要な瞬間において、指導的グループをつくるためには、今日吾々は労働者の對立的部分をすでに包括しなければならぬ。黨および労働組合内の少数派は、この目的のために組合員を配置しなければならぬ。この組合員は、行動委員会やストライキ委員会において活動すべき準備をなすべきである。吾々は幹部を養成し、協働者の連絡網を密接にし、もつて危険な方面に派遣しようとする訓練ある人物の特定数を常に準備しておかねばならぬ。ヨ、ロ、ハ、バ、アメリカにおいては一定の職業部門の經濟闘争は、その部門に屬する人によつてのみ指導されるといふ偏見が、共產主義者のあいだにおいてさえ見出される。この偏見は吾々のまさに克服すべき全く不當な先入見である。労働者階級のなかゝら、最良の、最も伶俐な、最も精力的な革命的分子を選び出し、かれらをあらゆる激烈な闘争に際して、公然と或は秘密に、行動委員会やストライキ委員会等々へは入らせて利用しなければならぬ。吾々は古臭くなつた方法に従つて活動するような贅澤はできない。こゝにおいて急激な方向轉換をやらねばならぬ。でなければ、革命的労働者運動は決

して改良主義が引いた限界線をとび越えることはできないであらう。指導的闘争機關はあらゆる國々において作らるべきである。この機關を組織し、經濟闘争の實踐的指導を吾々の手に收めることができれば、そのできる程度に應じて、プロフインターンの影響は増大するであらう。

### 經濟的偵察の役目

労働者の諸組織は見事に組織された敵に對立する。近代の企業家諸組織は、かなり複雑な機構であり、その機能は非常に秘密にされてゐる。吾々はこれらの組織の外的構造を知るに過ぎず、その内的機構に關し、或は激しい社會的紛擾時において活動し始めるところのその秘密な力については、何にも知らない。しかしながら、この方面についての吾々の無知は、漸次、不幸なものとなるだらう。吾々は企業家組織の機密基金についてなにを知つてゐるか？ 罷業破りの組織について、なにを知つてゐるか？ 偶然に暴露されたもの、或は二三の小冊子や出版物から知るにすぎない。新聞、裁判所、および一般に全國家機構を結合するために企業家が用ゐる方法について、吾々はなにを知つてゐるか？ ほとんど何にも知らない。にも拘らず、闘争はいよ／＼／＼困難になりつゝある。吾々は戦時と同様に軍略に頼らねばならぬ。戦時にはいかなる黨派も偵察によつて敵の力の配置を知らうと



する。吾々はなぜこれをやらないのか？ なぜに労働組合は偵察隊を組織しないのか？ なぜに吾々は企業家組織の秘密を偵察しやうとしないのか？ なぜに吾々は信頼できる人々から、吾々に利害關係ある、『動員計畫』、組織の内的機構、財源に關する材料等々の文書を得ようとするのか？ その理由は、多くの労働者がいまなほ小市民的な道德の束縛を脱することができないからだ。しかるに企業家はこれらの仲間を吾々のなかに送り込んで、労働者組織のすべてをかれらに報告させてゐる。かれらはスパイを有するのみでなく、労働組合官僚主義に頼つてゐる。この官僚主義は、プロレタリアート大衆のなかにブルジョア思想を傳播さす先鋒以外のなものでもない。企業家は労働者の反抗を破砕するために、あらゆるものを動員してゐる。しかも吾々は遠慮してゐるのだ。吾々のあいだには、非合法に企業家組織に關する材料を得ることに賛成しない人々が多いだらう。その人々には、企業家の秘密を偵察するために吾々の同僚を派遣することが不道德に思はれるのだ。こんな陣中はなくしなければならぬ。戦争は戦争だ。かれらの最弱點を臨機應變に攻撃するためには吾々は敵を理解し、かれらの戦争計畫を聞き込み、かれらはどの程度に力を配置しうるかの知識を得なければならぬ。あらゆる大きな労働者組織内には經濟偵察隊が作られねばならぬ。吾々の階級敵の側で、なにが起つてゐるかをよく知つてゐなければならぬ。さもなければ、吾々は常に打ち破られるであらう。

## 組織について

革命的労働組合運動の最も重要な任務は、吾々自身の組織の建設である。困難なことは、ある程度の雑多な組合の存在である。吾々は一般的な労働組合中央部、改良主義的労働組合内における少数派、獨立した單獨組合、等をもつてゐる。このために全革命的力を包括することは著しく妨げられてゐる。今後の吾々の組織上の任務は、何か？ 組織問題の中心點は何か？ 吾々の活動に最大限の弾力性を與へ、絶えず新しい大衆を吾々の組織的政治的勢力範圍に持ち來らす可能性を與へるような組織形態の結成、これである。注意すべきことは、どこにも少数派はかゝる組織として存在してゐないことである。二三の國々（イギリス、アメリカなど）においては少数派はなんら一定の限界をもたぬ集團であり、これに反し他の國々では、たとえばドイツにおけるが如く、かれらは組織的に結合してゐる。労働組合反對派の運動形成の線は、下から上へではなく上から下へ進んで行く。しかも無條件に必要なことは、一方、工場内に支持點をつくり、それから初めて地方的規模の反對派の結成に到達することができるように吾々の活動を構成して行くことである。

同時に吾々は労働組合内の新しい組織形態と關係しなければならぬ。資本の集中は、労働者層の



内部に、賃銀労働もまた集中することが必要だといふ認識を生ぜしめる。かくしてまさに吾々は一般的な労働者組合の形態にぶつかるといふ思想は、單一組合が産業別支部と共に成立したところのチェコスロヴァキアに、かなり多くの支持者がある。しかし吾々の考へによれば、この試みは尙早である。なんとすれば、労働組合運動はある一定の段階を経てのみ初めて、かゝる組織形態に達するものなのだから。あらゆる組織形態はその時々々の前提条件の範囲内で、その組織の適當さに従つて、批判されなければならぬ。瞬間的に事情がどのようであらうとも、『單一の組合』がどこでも廣大な労働者大衆を包含することはほとんど不可能であらう。吾々は労働者層のみならず、また黨員そのもの、職業的な先入見をも勘定に入れなければならず、かくして吾々はかゝる組織の建設には最もはつきりした見透しを以て着手せねばならぬ。すべての力の統一は、疑ひもなく無條件的に必要である。しかしながら、輕卒は激しい反動を引きおこすものである。吾々がチエコスロヴァキアでなした經驗は、多少とも單一組合への傾向のある國々の労働者によつてまじめに考慮されねばならないであらう。

他の重要な組織的問題は、他國におけるプロフィンテルンの代表機關の問題である。すでに色々な、非常に必要な代表機關が存在してゐる。ラテン民族諸國に存する中歐書記局や英國書記局は、同等につくられたものでなく、またその範圍や特質の上からいつても同一の活動を遂行すべきものではないが、しかも各自の領域内ではプロフィンテルンの思想の事實上の傳播者である。そのもとでプロフィ

ンテルンが活動しなければならぬ諸關係を考慮すれば、吾々の創設した書記局以外には國際労働者運動に働きかける可能性は存在しない。しかしながらこの書記局を政治機關たらしめることは、根本的に誤謬であらう。各書記局はプロフィンテルンの指令を遂行しなければならぬし、プロフィンテルンは、西歐の労働者運動を教示しなければならぬ、等々。そしてそれ以外のことはやつてゐない。與へられた權限外に出ようとする試みは、容易に並立主義に陥り、吾々の政治的方針を破壊するに至る。もちろん、吾々の代表は機關自己の領域に生じつゝある鬭争を探究し、それに善處すべきである。この制度はなほ一時的なものにすぎない。あらゆる國々にしつかりした組織が大きく且つがつちりと存在する程度に應じて、これらにはプロフィンテルンを代表すべき任務が生じ、そしてかれらは、そのために書記局のあらゆる機能をも擔當するに至るであらう。

これと同じやうに重要な問題は、一般的には革命的組合の、特殊的にはプロフィンテルンの財政状態の問題である。現在、プロフィンテルンの資金は、ほとんど全部ロシア労働組合の寄附からなつてゐる。他の加盟組合もまた財政的活動をやる必要があるだらう。特に、吾々が多くの國々において少數のものしか獲得してをらず、これらの諸國はなんの寄附もしないのだから、その困難は全くお話にならない。それゆゑ吾々は多くの場合、かゝるルーズな組織とプロフィンテルンとの間の、財政的結合を確保するためには、寄附金募集しか行ひ得ない。いかなる場合にもこの方面においては、



廣汎な活動がまちかまへてゐる。吾々は物質的な接觸を保持することにより、思想的接觸を強化しなければならぬ。

最後に、國際的連帶性による基金を論じなければならぬ。この基金は前年の大會により確立された。この基金のためになされる要求は非常に高く、鬭争も多數なので、このために行はれる寄附金募集は焼石に水の様なものである。それゆゑ、全革命的労働者は勢力と資力との特別な緊張が要求される。なんとすれば、かくしてのみ吾々は事實、満足な結果を収めうるのだから。吾々は誰れも常に必要な金額の大部分を支持しうるほどの金持ちではない。しかしそれ自身、さほど重要でない助力が鬭争を優勢に導く場合があるのだ。連帯責任基金の確立、およびプロフィンテルンの財政的確立は、最も重要な問題として來るべき大會の議事日程に上つてゐる。

### 労働組合運動における民族問題

この問題は形式的には解決されてゐるが事實上は解決されてゐない。原則的には充分明かにされてゐる。あらゆる民族の労働者は同一の組合に屬さねばならぬ、といふことになつてゐる。けれどもこの原則の實踐的遂行、すなはち種々な民族の労働者の組織的な交互關係を設定する段になると諸々の

困難が頭を擡げて來る。労働組合が民族的特徴に従つて存在することは吾々も知つてゐる。その典型的な國は、かのオースタリア・ハンガリー王國の民族的遺産を繼いだチェコスロヴァキアである。改良主義にとつては民族的軋轢は少しも珍らしくない。然し革命的労働組合運動の中に民族的組織の存するものは稀である。チェコ・スロヴァキアにおける前例は、ドイツ人とチェコ人との間に相互の不信が除去されてゐない事を示してゐる。織維労働者の組合中央部が二つあることは、たゞかういふ理由かのみ説明されうる。なぜなら民族主義的根據以外に實際上根據となるものが存在せぬからである。

民族的特性に従つて分割されてゐる組合には、奴隸制時代から傳つてゐる白人労働者組合および有色労働者組合の遺物としてのアメリカ及び南アメリカの組合をも算へ入れなければならぬ。民族問題においては吾々は、決定的民族の労働者に對して、比較的影響の小さい民族の労働者に對するよりは大なる任務を課する。このことは全く自然である。なぜなら民族的抑壓は全身にかゝつてをり、民族主義的害毒はそれにも拘らず革命的な頭腦をまで冑して來ることがあり得るから。だから支配民族の労働組合は、民族的軋轢を氷解させるための特殊の方法の必要を理解しなければならぬ。支配民族の労働者がその國際的精神を言葉でなく行爲を以て實證しさえすれば、この問題の解決は困難でない。

### 植民地並びに半植民地諸國の労働者運動



遺憾ながら近東、中東および極東における吾々の活動には多くの物足りないところがある。吾々の眼前には見透しのきかぬほど廣大な活動分野が横たはつてゐる。植民地ならびに半植民地諸國における労働者運動は、吾々の側ではあらゆる會議の討論題目になつてゐる。東洋では近代的労働者運動の形態は驚くほど中世の遺物ともつれ合つてゐる。こゝではプロフィンテルンが他のどこよりも有用なものとなつてゐる。アムステルダム派も最近に至つて同様に、東洋に進出を試みてゐる。かれらは日本の労働者に對して國際労働局への加盟を勧誘し、また印度の労働者に秋波を送つてゐる。しかしそれはたゞこれらの諸國における革命的運動の擴大を妨げせんがためである。新生活に眼覺めた東洋はそれにも拘らず歐米帝國主義によつて最も殘酷に搾取されてゐる。遺憾ながら吾々は労働者の状態、生活環境、その要求等々について知るところが少くない。吾々の義務は革命的組合員のみならず適當な人物を選出して、東洋通を養成することである。吾々は、搾取されてゐる植民地ならびに半植民地諸國の最も邊鄙な隅々にまでも突進して行かねばならない。吾々は特別な會議を開いて植民地の後れたる労働組合運動と意見や經驗の交換を行はねばならない。この方面の可能性は無限にある。吾々の障碍となるものは、言語の不通であり、更らに植民地の世界を蔽ふてゐる無知であり、ヨーロッパ帝國主義による苛酷なる搾取のために生じたところの東洋の労働者運動の退歩性およびその民族的精神である。特に重大なる責任を負ふものは本國の、先づ第一にイギリスやフランスの労働者だ。彼ら

は自國植民地の勤勞者のなかで廣汎な活動をやらねばならない。だが今日までこの方面の仕事は殆んど行はれてゐない。公然の秘密だがイギリス帝國主義にとつて印度やその他の植民地が搾取の對象として存続する間は、イギリス帝國主義は微動だもせずにつづくであらう。同様のことはフランス、オランダ、ベルギー、イタリア等にもあてはまる。けれども、本國との緊密な協同活動が行はれるのであれば、植民地ならびに半植民地諸國における活動によつて帝國主義は倒壊され得るものではない。それ故に戰略的任務は支配民族および被抑壓民族のプロレタリアートの行動を同等にすることだ。

## 農民と労働組合

この問題はプロフィンテルン第三回大會の日程に上つてゐる農民インタナショナル樹立の問題と關連がある。では農民インタナショナルにはいかなる見透しが開けるか。百萬の貧農の窮乏化、かれらの成長しゆく不満、また金融工業寡頭政治に反抗するために組織せんとする欲求を觀察するならば、農民運動を知らぬ顔で看過することは出来ない。労働者階級は金融資本や産業資本に對する凡ゆる反對的な運動のみならず、どれほどでも革命的な運動を支持することに利益を有する。しかし吾々は農民階級の眞實の性質やそれが革命において演じ得る役割等についてなんらの幻影をも持つてはゐない。



農民は、労働者階級が闘争の指導を引受ける時にのみ革命の豫備軍となるであらう。しかしながら、都市の革命の利益のために農民を獲得するには傳導勢力を要する。そしてそれこそ農業労働者なのである。農業労働者は組合の組織によつて工業プロレタリアと結び付けてをり、農村における社會×××の道を開拓せねばならないのである。農業労働者の組合はあらゆる不満ある農民の貯水池にならねばならない。それ故にプロフィンテルンは農民インタナショナルに對して利害を有するのである。がしかしこの運動は農業労働者の事實上の大衆運動ならびに闘争運動を起すことに成功した時にのみ適當な道に就き得るであらう。

### 労働組合および協同組合

協同組合運動は幾百萬の労働組合に組織されたプロレタリアを捉へてゐる。労働組合と協同組合の相互關係を再建せんとする企てはずつと前から行はれてゐるが、なほ今日までなんらの成果をも收めてゐない。改良主義的組合と改良主義的協同組合との間にはたゞ若干の接觸があるにすぎない。のみならずアムステルダム・インタナショナルと國際協同組合聯盟とは同權の委員を持つてゐるがその委員なるものは、國際労働者運動の諸問題や、また資本に對する闘争を如何に組織するかといふ問題な

ぞは扱はずに、たゞ協同組合内の管理部と使用人との間の些細な紛議の調停をしたにすぎない。かゝる態度で労働組合と協同組合の相互關係を片付けるのは額の狭い改良主義者共のみでできることである。革命的労働者にとつてこゝで問題になるのは、内容豊富な眞剣な關係である。協同組合運動は労働者を消費者として結合する。そして労働組合が關心を有することは、労働者の一切の要求が必要ができるだけ正確にその組織に反影することである。だから労働組合員はすべてまた協同組合員でもあるようにしなければならぬ。吾々は協同組合のなかに立籠り、そこから革命的労働運動の妨害をする改良主義者共に對して決定的闘争を敢行しなければならぬ。もし吾々が改良主義者たちに協同組合内のかれの地位を確實にする可能性を與へるならば、かれらは労働者運動に多大な損害を加へるだらう。だからかれらはたゞき出してしまはねばならぬ。けれどもこれは上述の如く、すべての労働組合員が同時にまた協同組合員であつて、そこで積極的に協働してゐる場合にのみ出来ることだ。吾々がこの目的を達成するのは、吾々の諸組織が協同組合運動の意義を充分のみこんだ時だけである。協同組合への吾々の影響が強ければ強いほど、それだけ協同組合と労働組合の連絡は緊密となり、また革命のために労働者階級の全エネルギーを組織的乃至政治的に集中するための前提條件はますます好都合となるであらう。



## 移 民 問 題

四三四

移民は常に労働者運動にとつて非常に重大な意義をもつてゐた。二三の國々においては移住者の數が激増したために、今日すでに特殊な方策を施してかれらを組織し、かれらが移住した國々の労働者運動を侵し、その種々な傾向を傳播して破壊してしまふのを防止する必要があるように見えるほどである。移民の數が數百萬を算する合衆國を除いても、現在だけでも百萬以上のイタリー労働者のゐるフランスを指示する必要がある。合衆國が移民に對して行つた制限は、移民の潮をヨーロッパ諸國の方に向はせた。それによつてそれらの諸國における労働者の經濟的狀態はひどく侵害されてゐる。改良主義的労働組合は移民問題を解決する代りに、移住労働者と自分達の間に高い牆壁を設けたゴムパ、ス氏の反動的組合のことを一言もしやべらぬ様に、移民そのものと戦つてゐる。ヨーロッパの労働組合ですらも移民に對してなんらの好意を見せず、またXXを當該國の労働者階級の闘争のために獲得するため何一つやつてゐない。革命的組合にとつては事態は全然異つてゐる。吾々は、XXをその時々々の組合に引き入れるために系統的にかつ執拗に活動しなければならぬ。特別な機關紙ならびに部門を設けねばならぬ。XXに、創意と獨自性とを發揮しうる可能性を與へ、自國語でなしうる

宣傳の手段を與へねばならぬ。吾々は移民が革命的組合のなかで、本國にゐるような氣持になれるように全力を盡さねばならない。それには革命的組合が移民労働者に物質的・精神的支持を與へればよい。吾々はどこの國でも移民には特別の例外規定の設けられてゐることを眼中におかねばならない。例へばフランスでは、たゞ普通のストライキに参加しただけで、移民にはより長期の禁錮を課したり、國外追放に處したりしても充分だとされてゐる。移民労働者の法律上の地位は極度に不利である。それ故に移民労働者と内地労働者とのXXのために闘ふことは、XX的労働組合の任務である。産業別部門と並んで全國的中央部と、移民のために外國労働者のXX活動のためのXXの事務局とを連絡し、移民のうちから協働者を選出することが必要である。革命的組合は、内地労働者よりもXX労働者により多くの注意を拂ふ時に、その任務を果し得るのである。革命的組合の常に考慮すべきことは、住み慣れない環境に生活してゐる労働者は、その國の慣習や氣風やに通曉して居る人々よりも以上に助けを、要求してゐることである。XX労働者は革命的組織の積極的な、一切の權利を與へられた成員とならなければならない。といふのは、もしさうならなければ、吾々は、絶えずブルジョアジヤがその利益のために利用してゐるところの、XX労働者と内地労働者との間の對立を除くことに成功することは出来ないであらうから。

四三五



## ファシズムに對する闘争

ファシズム、特にファシスト的労働組合に對する闘争は、依然として、革命的労働組合の最も緊張した注意を要する闘争分野である。だから吾々が快だらうと不快だらうと、ともかくファシストが労働者階級のなかに勢力を勝ち得てゐることだけは認めねばならない。イタリーのファシストがかれらの勢力を高く買被つてゐると考へても、なほ數十萬の労働者がかれらの影響下にあることは事實である。ドイツにおけるファシズム運動もまた成功してゐる。ドイツではかれらは二三の工場に根を下ろすのに成功してゐる。反動的士官や學生を基礎にしてゐるかれらの愛國主義的労働組合は、社會的闘争において或る役割を演ぜんと努めてゐる。だからファシズムに對する闘争は、ファシズムはすでに或る勢力にまで成長してゐる諸國においてばかりでなく、漸く發生しかけてゐる所においても、敢行しなければならぬ。ベルギー、フランス、アメリカ、イギリス等でも、チェコスロヴァキアでも、ハンガリーでも、到る處、ファシズムの組織があり、デマの口實を用ひて労働者大衆のなかに喰ひ入らんとしてゐる。これらの組織は今その胎兒のうちに絞め殺してしまはねばならない。どうして絞め殺すか？ それには反ファシズムのプロレタリア的闘争組織を建設すると共に、ファシズム・イデオロギー

に對する啓蒙のために廣汎な宣傳活動を組織しなければならぬ。この活動は、イタリー問題についてのファシストの虚偽な約束を指摘すれば、ますます容易になる。イタリー労働者の經驗（八時間労働日および労働保護法の廢止、虐殺、労働者指導者の逮捕、労働組合組織の破壊、等）は無限に廣汎な範圍のプロレタリアートに知らされねばならない。さうすると、すべての労働者はファシズムの勝利がどんな結果をもたらすかを確信することができる。他方、労働者自衛團および反ファシズム労働者團の組織によつて、フラ／＼してゐる労働者は自分自身の組織か敵の組織かどつちか一つを選ばざるを得ざるに至るであらう。ファシストには正義を對立させねばならない。かれらは非常に積極的であり、その積極性によつて労働者を奪ひ去るのである。このファシストの積極性は、しかし、労働組合運動における革命的要素の十倍の積極性が對立せられねばならない。かくの如きことをなさず、吾々がファシストをして工場内で思ふまゝにさせておくならば、その時こそ彼等は容易に目覺めた分子を自分の味方に引き入れることができる。かれらが一度びその組織を作れば、彼等に對する闘争はますます困難になる。ファシズムは豫防的の反革命である。それ故にファシズムに對する適宜な方策が樹てられねばならない。

## 労働組合とスポーツ



プロレタリア・スポーツは日と共ますます重大な力となつてきてゐる。数百万のプロレタリア青年はスポーツに熱狂してゐる。けれども他と同様、この方面でもブルジョアジーは吾々より遙かに進んでゐる。完全にブルジョア的なスポーツ團體と並んでかゝる混成物が存在してゐる。ブルジョアジーはスポーツを自己目的として教育せんと努力してゐる。すなはち労働者の注意をプロレタリア・スポーツのもつ特殊な意義からそらさうと努めてゐる。だがスポーツといふものは全く異つたもので、單にそれ自體が目的なのではない。スポーツは單に労働者大衆の健康増進の手段であるばかりでなく、政治的闘争の武器でもある。

現存の改良主義的スポーツ組織およびルツェルンにあるそのインタナショナルは、イデオロギーにおいては第二およびアムステルダム・インタナショナルと異るところがない。しかし吾々は多くの國々（フランス、チッコスロヴァキア、ドイツ）に非常に注意すべき價値ある革命的青年のスポーツの團體をもつてゐる。では、この方面での労働組合の任務は何か？ 労働組合は、スポーツ團體や組織に階級意識といふ意味から働きかけ、これらを資本主義に××××××××として行かねばならない。注意すべきことは、これらの組織はファシズムや反革命に對する××××××として最もふさはしいといふことである。吾々はスポーツ組織を××××××の武器たらしめるべく、スポーツ運動を獲得するよう全力を盡さねばならない。しかしながら、吾々の労働組合はこの方面では未だ殆んど何もやつてゐ

ない。だがかくの如くスポーツ運動を顧慮しないことは、重大なる不意打を蒙る恐れがある。一方では労働者はスポーツによつてブルジョアジーから監禁されてをり、他方では改良主義者がスポーツ組織のなかで思ふ存分跋扈してゐる。吾々が忘れてならぬことは、來るべき社會的闘争においてスポーツ團體が極めて重大なる役割を演ずるであらうといふことである。吾々がそれを輕視してゐれば、吾々に反抗して來るであらうし、また吾々が必要な活動と革命的エネルギーとを捧げれば吾々と共に進み吾々の味方になるであらう。

### 婦人および青年の間の活動

労働組合内の婦人の数はまだまだ大したものではない。労働者運動が相當に高い比率の婦人を組織してゐる處ですら多數の婦人労働者は組合の影響の外にゐる。これは全く危険である。数百万のプロレタリア婦人を積極的協働に引き出すことなくしては、労働者運動は勝利し得ない。プロフィンテルンは特別な婦人組織の結成に常に反對してきた。そして今後も同様に反對しなければならぬ。だがそれだけでは充分でない。實踐的に活動しなければならぬ。そしてこの點で吾々の組織は行き悩んでゐるのだ。あちこちに存在してゐる婦人書記局は、労働婦人の間で活動を實行するための第一歩にす



ぎない。婦人の間での活動のために書記局を設けることが必要なばかりでなく、全組織機關を今までよりもつと婦人を引き入れ婦人の間で××するのに都合好いように改造しなければならない。特別の文書が出版されねばならぬ。この領域において吾々は全精力を緊張させねばならない。といふのは、ブルジョア世界はその先入見をもつて、男子に對してよりも婦人に對してより大きな影響を及ぼしてゐるのだから。婦人は非常に遅れて組織的政治的生活に入つてきたのだから、吾々の側での最も猛烈な活動が、婦人を××労働組合運動の軌道に××××するために必要とされてゐる。

青年の場合は全然異なる。青年は革命時代以後、革命的思想に大なる共鳴を示してゐる。青年インタナショナルによつて統一されてゐる青年同盟は相當に廣汎な組織的ならびに政治的活動を展開してゐる。だがこの方面でも吾々は比較的少ししか仕事をやつてゐない。革命的労働組合でも一寸見たところ、青年を動かすような問題にほんの少ししか注意を拂つてゐない。工場内の青年労働者は、しかしながら、技術的生産力としてばかりでなくまた政治的勢力としても意義あるものである。

工場委員會獲得のための吾々の闘争は、婦人および青年を引き入れることなしには、甚だ不完全なものである。それはまた大會召集の場合も同様である。工場内における婦人労働者および青年労働者の活動が煽動されねばならず、またそれによつて労働組合内でのこれらの活動が克ちえられるのである。いまやプロフィンテルンが青年インタナショナルと協同してこの點に關する行動綱領を作成した

ものの、吾々の組織は、遺憾ながら、これに注意を拂はうとする少しの傾きもないのである。吾々が工場内の全勤労働者を結合しようとする意圖を有するならば、以上に述べた問題に全注意を向けねばならない。

### 救援組織（國際労働者救援會）

労働者階級は救援組織なくしては自己の闘争に成功することはできない。この救援組織は國際労働者救援會、赤色救援會等である。國際労働者救援會はその成立當時においても、またその外労働組合の活動分野に近接せる領域においても、多くの仕事をしてきた。ストライキ参加者のために食料製造所を設けたのも國際労働者救援會であり、さらにこれらの人々のために生活手段を買ひ入れたはそれを金銭で支持したりした。約言すれば、本來労働組合に屬する機能を果たしたのである。社會的衝突が今日の如く廣範圍におよぶ場合には、かゝる救援活動およびそのイニシアティブは凡て最も重要なものである。國際労働者救援會の活動は吾々が正しい進路にあることを示してゐる。それは依然労働者階級の闘争における救援組織でなければならぬ。國際労働者救援會は今日では改良主義者の猛烈な非難的となつてゐる。かれらの非難は國際労働者救援會は共産主義思想を普及し、コミンテルンやプロフィンテルンの誇大廣告をするといふのである。だがそれならなぜ第二およびアムステル



ダム・インタナショナルは同様な誇大廣告を拵へないのか？ 國際労働者救援會に對する改良主義者の闘争は全然別個な、もつと深い理由があるのだ。これらの紳士たちはブルヂ・アジールと非常に緊密に結び付いてをり、そのためにかれらは、ブルヂ・アジールが労働者階級を搾取するのを妨害し得る組織は如何なる組織と雖も我慢できないのだ。これに反して、吾々は國際労働者救援會を支持し、その活動舞臺を擴大し、その仕事を一定の軌道に向はしめるために全力を盡さねばならない。

上述のことはまた赤色救援會にもあてはまる。それは白色テロルやブルヂ・ア法律の犠牲者を授けるのである。だから改良主義者と共通な何物をも持たない。なんとすれば、これらの先生たちは白色テロルやブルヂ・ア法律の下で少しも苦しんではゐないのだから。否、かれら自身がプロレタリアーに對するブルヂ・アジールのテロルや法律の支持者なのである。

以上二つの組織の活動は共に國際的革命的労働者運動にとつて極めて有用なものであるから、最も廣範圍に亘る支持が確保されねばならない。

## 労働組合新聞

革命的労働組合新聞は大なる成果を擧げてゐるとはいへ、吾々はこの領域における任務の百分の一

も果してゐない。吾々の新聞はまだ微弱である。どの國でも新聞の部数はプロフィンテルンのメンバーよりも少ない。確かに吾々は立派に編輯された週刊雑誌を二三もつてはゐる（フランス、ドイツ、イタリー、イギリス、チッコスロヴァキア、等）。だがこれだけでは充分でない。吾々は先づ第一に部数がプロフィンテルンの組織の成員数を超過するぐらゐまでそれを増加させ、それから産業別機關紙を發刊し、さらに各國において全革命的労働組合運動のための中央機關紙を出さねばならない。過渡期には共產主義的新聞に特別な欄が設けられねばならない。労働組合機關紙の全然存しない國々では労働組合運動のための特別版を出さねばならない。そして最後に堂々たる革命的労働組合出版物の發刊にまで眞剣に進まねばならない。プロフィンテルンはこの方面で多くのことをやつてきた。かなり廣翰なプロフィンテルン文庫がある。もつとも、それは包括的でないのは勿論である。

新聞の問題と最も密接な關係のあるものに報告の問題もある。吾々は最初は中歐やフランスでやられてゐる報告の發行といふ方法でやつた。これに反してアングロサクソンの諸國では極めて不十分にしか顧みられてゐない。この點でもつともつと状態の悪いのは東洋方面である。スカンディナヴィヤならびにバルカン諸國の労働組合新聞や、労働組合運動に對する報告資料の傳達についても同様である。プロフィンテルンとそのすべての支部との連絡をもつと改良して、報告を出し、そしてプロフィンテルンの全支部および部門はいつも國際労働組合運動について精通してゐるようにしなければなら



ぬ。この領域における吾々の活動を百倍化するとしても、なほかつ充分でないであらう。

## 結 語

こゝに簡単に示した革命的労働組合運動の任務からして、吾々は、プロフィンテルンの次の大会がいかに大きな仕事をなし遂げねばならないかを知るのである。政治的問題を組織的なまた技術的な問題から分離するのは誤謬であらう。これらのものは相互に最も緊密にもつれ合つてゐる。よい政策はたゞよい組織のある場合にのみなされ得るであらう。また最善の組織はよき政策と共にのみ存在し得るものである。政策問題と組織問題のかくの如き一致を、吾々はロシア共産黨、コミンテルン及びプロフィンテルンの活動の中に最も明瞭に看取するのである。

吾々は、吾々の任務を遂行するために、吾々の戦術を變更せねばならぬか？ 同志の中には戦術の變更しかも『新しい』戦術を要求するものがある。新しい戦術はどうして作られると言ふのか？ なかんづく、統一戦線のスローガンを廢して、その代りに労働組合運動の分裂が宣言さるべきだと言ふ。すでに、この題目については吾々は述べてゐる。統一戦線の戦術についてはなほ少し述べれば十分である。この戦術に反對するものは、吾々がまさにこの戦術によつて生長してゐることを全く忘れ

てゐるものである。その例は統一戦線の戦術に相當強硬な反對のあつたドイツ共産黨である。ドイツの同志達は統一戦線は下からやらねばならぬと要求する。しかしながら、この問題でだけに、一般にあてはまる原則や行動様式を持出すことは最もふさはしくないように思はれる。ある國では、またある産業部門では統一戦線を下から、他の所ではまた上から、即ち時期、場所および闘争状態に應じて持ちかけるのが好都合だらう。ある場合に起る悪い結果は、専ら無用な方法に歸すべきである。一九二三年五月の國際運輸労働者大會は統一戦線を上から達成しようとする試みであつた。統一戦線戦術に原則的に反對する者のなかにも、この企圖の大きな政治的意義を否認するものは先づゐないだらう。だからこの戦術は今後も依然、階級闘争における重要な操作である。すべての戦役に際し豫じめ根本的に熟考されねばならない。吾々は、陣形を急速に變更して労働者の間にその時々に取り來る現象を顧慮し得る様になければならぬ。だから吾々が状態に適應して『上から』或は『下から』といふ原則を適用しようとも、常に吾々はいかなる犠牲を拂つても大衆を吾々の味方にひき入れるといふ目標を念頭においてゐなければならぬ。

各國の労働組合運動は、さらに、労働組合と労働者政府との關係を、はつきりさせておかねばならぬ。革命的組合の革命政府に對する關係は、なんらの説明を要しない。サヴェート・ロシアにおける如く政府がプロレタリア××の機關である處では、政府は革命的組合からあらゆる方法で支持される



のである。だがしかし英國流の労働者政府に對しては、いかなる態度がとらるべきか？ この場合では事態は明瞭だ。英國の労働者政府は聯合政府の變り種以外の何ものでもない。かれらのこの本質、精力的な活動に對する彼等の恐怖、社會改良と名のつく一切のものの拒否、ブルジョアジーへのかれらの屈服が暴露されねばならぬ。それには單なる批判だけでは不充分であり、それ以外に理解し易き事實を附け加へねばならない。廣汎なるイギリス労働者大衆（現今ではデンマークも同様）はかくの如き労働者政府になほ信頼してゐるのだ。かれらはまだなほ議會主義的民主主義的幻想に浸つてゐる。吾々は、この政府に社會立法、労働條件改善、租税制度、植民地問題等の領域にわたる具體的な綱領を提出しなければならぬ。吾々はこの政府に、その切札を暴露させねばならない。それには上に述べたような方法で、すなはち大衆が賛成するにきまつてゐる具體的綱領の提出によつて、やらねばならない。労働者政府が存立してゐる處ではプロフィンテルン加盟者たちは特に注意深く、特に賢明に、労働者政府を支持する大衆に對して統一戦線の戦術を應用しなければならぬ。

萬國の革命的労働組合運動が歩まねばならない道は險阻な曲りくねつたものである。しかしながら幾百萬の労働者はなほも自國のブルジョアジー、自國の國家および自國の改良主義者との戦闘に勝たねばならないのだ。疑ひもなく大なる困難に打勝たねばならないが、その困難は決して打勝ち得ないものではない。一層の忍耐、執拗、革命的柔軟性、社會革命に對する一層XXXX—しからは、XX

XXXXXXXXXX!。(野村露)



プロフインターン

第四回大會の諸成果

——一九二八年四月二十日、労働組合と工場委員會のモスクワ地方機關が参加して開かれたモスクワ地方労働組合評議會の擴大總會に於ける報告——



プロフィンテルン第四回大會は、全國際勞働者運動にとつて、それが第三回大會の三年八月後に開かれ、即ちかなり長い時期の勘定をするといふ理由で、非常に重大な意義を持つてゐるのみならず、主としてそれが、その範圍、その構成、その決議の性質および最後にその活動方法からいつても、確かに素晴らしい現象を形ち作つてゐるといふ理由で、非常に重大な意義を持つてゐるのである。

### プロフィンテルン第四回大會に於ける代表

第四回大會は——この點が先づ強調されねばならぬが——それ以前の諸々の大會から比べると構成の範圍が著しく廣大であつた。

こゝ數年の間に、數多なる國々がプロフィンテルンに加盟したが、それらは従來は國際勞働組合運動の圏外にあり、その代表者は第四回大會で始めて他の國々の代表者達と顔合せたのであつた。第三回大會と第四回大會との間の時期には、一方にはコロンビア、ペルー、チリ、エクアドル等々のやうなラテンアメリカ諸國が、他方には東洋の諸國が歴史的舞臺に登場したが、この東洋諸國には支那も含まれ、一九二五年の初頭始めてプロフィンテルンに加入した支那の勞働組合運動は、吾々の特別な注意に値ひするものだ。

かくてまづ指摘されねばならぬことは、五十ヶ國の代議員のうちで二三の者は、プロフィンテルン



の一員として第四回大會に参加したのではなくて、むしろ世界ブルジョアチーに對する共同の階級戦争の同盟者として、就中フィリップスの労働者運動や、ノールウェー労働組合同盟や、そしてラポロの労働總同盟（イタリー労働組合同盟）の公けな代表が参加したといふことだ。

大會には大印度を除く世界の殆どすべての國々が代表されたが、印度では可成り大きな又勢力ある左翼が成立してゐて、プロレタリアートの階級闘争に於いて重要な役割を演じつゝあるにも拘はらず、その労働者運動はイギリスの阻止堡によつて代議員を送ることを妨げられた。大會に代表されたものは、五十ヶ國と世界の五大陸すべて、即ちヨーロッパやアジアの外に、南北アメリカ、オーストラリアの労働組合運動、並びに北アフリカの二三の組織であつた。だがチニスとアルヂェリアの労働者團體は、警察の奸策やサヴェート同盟へ旅行することの困難のために大會に参加することを断念しなければならなかつた。世界のあらゆる反動列強國が吾々の大會に對抗して活動したといふこと、二三の國々では代議員の選挙やその出立が警察の多くの妨害を克服しない中は不可能であつて、従つてすべての國々が大會で十分に代表され得たといふわけではなく、一方では又その他の國々は非合法的代表に依る外、途がなかつたといふこと、これらすべてのことを思ひ浮べるならば、そこではじめて、大會へ代議員を送ることの意義や、吾々を妨害しそして吾々が克服したところの諸々の困難等について正しい観念を持つことができる。

まさしく彈壓や逮捕、世界反動の統一戦線が、一聯の國々の労働組合運動が只その一部分しか代表されなかつたといふ結果を來たらしめたのだ。××からも可なり多くの代議員が到着する筈であつた。だがたゞ一人の××の同志が來ただけである。その他の同志は逮捕された。この間、旅行の途上に於いて代議員の『好まざる滞在』といふことが、同様その他の國々でも起つた。かくて労働組合に對するプロフィンテルンの政治的影響と全世界に張り廻らすその組織的影響とは、第四回大會に於ける廣大な範圍の代表に於いてさへも未だ充分には現はされるに至らなかつた。世界反動の壓迫が、明らかに代議員の數を減じたのだ。

既に述べたやうに、すべての國々は公式の労働組合組織によつて代表されたといふわけではなかつた。その労働組合運動が完全にプロフィンテルンに結びついてゐるサヴェート同盟支那、コロンビア等のやうな國があるし、それから分裂した労働組合運動をもち（フランス、チェコスロヴァキア、日本等）、革命的組織の代表者のみが出席したやうな國もある。更にまた大會には、改良主義的労働組合に於ける革命的翼の代議員が参加した。例へばドイツ、イギリス、合衆國等だ。そして最後に多くの場合においては、非合法的労働組合運動、例へばラポロ労働總同盟の代表であつた。代表の様々なる性質は、取りも直さず國際労働組合運動の現在の状態を反映したものだ。大會には、國際労働組合運動およびその革命的左翼に於けるすべての事柄が反響したのだ。



### ××家と改良主義者との間の力關係

最近の大會と關聯して先づ第一の問題として起るのは、即ち、プロフィンテルンは第三回大會以來の期間において成果を收めたか、全世界に於ける革命的労働組合運動は進歩を示し得たか、或はまた改良主義者が主張するやうに衰微の状にあるか？といふ問題だ。

こゝに課された問題は、革命のおよび改良主義的勢力の労働組合での革命のおよび改良主義的翼の意義を細心に吟味し、規定し、商量した後始めて解答されることが出来る。

國際改良主義は、二つの國際的労働組合組織に基礎を置いてゐる、即ちヨーロッパでは國際労働組合聯盟、所謂阿姆斯特ダム・インタナショナルに、そしてアメリカではアメリカ大陸の改良主義的労働組合の中心たる汎アメリカ労働聯合に。これらの組織は、國際労働組合運動と労働者運動の中における凡ゆる反動的な、後れた傾向を吸収した。それは次のやうな勢力を左右してゐる、國際労働組合聯盟は（一九二八年の状態によれば）一千二百八十萬の同盟員を、そして汎アメリカ労働聯合は三百五十萬。だが國際労働組合聯盟（もしくは阿姆斯特ダム・インタナショナル）が八年前はその陣列の中に二千四百萬の組織労働者を統一してゐたことを顧慮すれば、簡単な算術法則によつて彼の『生

長』の方向と性質とを規定することが出来る。けれども純算術上の數は、國際改良主義の勢力について決定的説明を與へるものではない。多くの國では共產主義者によつて指導される革命的労働者が改良主義的労働組合の内部にあり、阿姆斯特ダム・インタナショナルの統計的數字の行列はそれによつて補はれてゐるといふこと、即ち阿姆斯特ダムは、イギリスでは四百萬、またドイツでは五百萬の加盟員を計上してゐるが、その數字の中には約百萬の所屬をもつイギリスの少數派運動、ならびにドイツ労働組合の百萬を超える組織労働者の上に影響を持つ革命的翼が包含されてゐることを知らなければならぬ。それ故、改良主義的組合および反動的インタナショナルの内部には、組織上は改良主義者と結合してゐるが、それに反し精神のおよび政治的にはプロフィンテルンと結合せる革命的翼が存在してゐる。この左翼は、如何なる勢力を左右しつゝあるか。所謂二つのインタナショナル——國際労働組合聯盟（阿姆斯特ダム）および汎アメリカ労働聯合——の中には、吾々は少なくとも三百萬の同志を持つてをり、彼等は吾々の指令に従ひ、吾々の旗の下に闘争し、吾々の方策を遂行し、そしてプロフィンテルンによつて作られた戦術を用ゐてゐる。形式的には、彼等は阿姆斯特ダム・インタナショナルの成員ではあるが、併し實際にはプロフィンテルンの成員である。獨特な組織的組立てはプロフィンテルンの方針によつて條件づけられて、それは改良主義的労働組合に於ける労働者の獲得に向けられてゐる。



吾々が、此の二つのインタナショナルをプロフィンテルンに對立させ、そしてその勢力を數の上から理解しようとするならば、吾々はプロフィンテルンが——改良主義的組合の革命的少數派を姑く置いて——一聯の強力な獨立せる革命的組織を基礎として居り、その中にもサヴェート同盟および支那の労働組合が第一位に立つてゐることを知る。私は、すべての加盟組織を算へ上げはしないだらう——吾々はそれについては既に充分に材料を公けにした。だが勢力の數の上の對立が既にプロフィンテルンの優勢を證據立てゝゐることを強調することは重要だ。けれどもそれと同時に、労働組合運動に於ける反動的翼が取るに足らない大きさであるとか、近年可成り重要な地位を失つた改良主義は、輕視したり或はまた歴史上の計算から除外したりすることが出来る大きさであるとか云ふことはできない。それは誤りであり、表面的であり、革命的労働組合運動に於いて威勢を振ふ革命的現實主義にふさはしくないだらう。國際改良主義は、なほ著しい勢力を持つてゐる。それはなほ、最も重要な資本主義諸國、ドイツ、イギリス及び合衆國に於いて著大な労働者層に支持されてゐる。それは多くの國々に於いてなほ一つの勢力である、といふのはそれが歴史的に生長した労働組合機關を支配してをり——これは非常に重大なことだが——又最後にそれが帝國主義の同盟者だからである。

革命的労働組合と改良主義的労働組合との勢力を比較するにあつて、革命的或はまた改良主義的労働組合に組織されてゐる労働者の數を注意するだけではない。労働組合運動の右翼と左翼との

間の勢力關係は、國際労働者運動の全情勢とその内部に於ける諸過程とを把握することによつてのみ規定され得る。反動と革命との凡べての勢力を測定し、改良主義の側には世界資本主義が、そして革命運動の側には唯一の、しかも非常に重要な國、即ちプロレタリア××の國が立つてゐるといふ事實を酌量した後、一言にすれば、労働者運動に於けるすべての事件を分析した後始めて、改良主義的労働組合運動や、改良主義的インタナショナルの眞實の力に對する完全な見透しをつけることが出来るのだ。『改良主義的組織』といふ言葉に非常に心を奪はれて、そして或る程度まで此の言葉に壓迫されてゐる同志がある。名目上の強さとそして機關との背後に、彼等は階級闘争の力學、労働者階級を煽動し行く諸過程を見ないのである。彼等は、改良主義の勢力が資本主義の勢力から由來してゐることを見ないのである。例へば労働組合運動が非合法的であり、そして労働總同盟が階級闘争の基礎の上に立つてゐるイタリーのことを思ひ浮べてみよ。そこでは改良主義者と共產主義者との間に於ける力關係は、何によつて規定されるか？ 大衆の間に於ける自由な煽動によつてか？ 改良主義者の觀念的および政治的影響によつてか？——斷じてさうでない！ そこでは勢力關係は、あらゆる強制手段やあらゆるテラーの方法を共產主義者に對して用ゐてゐるファシスト國家によつて規定されてゐる。そして、ブルガリア、ユーゴスラヴィア、ルーマニア、ギリシャ、ポルトガル、ブラジル、支那、日本等の如き國々に於いてはどんな状態であるか？ そこではプロフィンテルンとアムステルダム・インタ



ナシ・ナルの所屬者との間の力關係を規定するものは何であるか？——大衆に對する改良主義者の觀念的・政治的影響などは極く小さい。インタナシ・ナルとその支部との社會民主主義的幹部の背後にはXX官廳やXXXやその他のブルジョア・ファシスト國家の諸々の工夫がある。ブルジョア國家の諸々の装置や企業家組織は、革命的労働者運動と戦ひつゝある、改良主義勢力を判断しようと思ふならば、正にこのことを觀察しなければならぬ。改良主義は、ブルジョア國家の援助なしには、それが現在演じつゝある所の役割を演じ得ないであらうことを知らねばならない。

この點に於いては、單にイタリーやバルカンに於ける事件のみならず、其の他多くの國々に於いてもまた非常に顯著なものがある……なほそればかりか——公然の白色テラーが支配し、支那流に、労働者が労働組合に所屬するために斬首されるか、或はまたイタリー流、ブルガリア流、ユーゴスラヴ流、ルーマニア流、および之に類した流儀の國に於いてのみならず、所謂ブルジョア民主主義の外見的原則が保證されてゐる國に於いてもさうだ。ドイツ、フランス、イギリス、合衆國、チェコスロヴァキア等に於いても亦、改良主義者と共產主義者との間、プロフィンテルンとアムステルダム・インタナシ・ナルとの加盟者間の力關係が労働者の一定層に對する改良主義者の影響によつて條件付けられることは、ブルジョア國家機關の全力が革命的労働者運動の破壊に向けられてゐることによつて條件付けられる程に甚しいものではない。だが眼をベンシルヴァニアに向けてみよ、今なほ續く鑛山労働者の

ストライキのこの數ヶ月のうちに、多くの指導者は殺され、ストライキをやつゝある鑛山労働者は放逐され、抵抗するといふ理由で催涙瓦斯や窒息瓦斯で苦しめられてゐる。更にまたドイツをみるならば、そこでは無数の共產主義者が牢獄に入れられ、フランスでは改良主義者、企業家、國家、法廷、警察等々の統一戦線が革命的労働者やユニテリアン派の組合に對し向けられてをり、そして最後にイギリスに於いては、産業大ブルジョアと總評議會の統一戦線が少數派運動に對向してゐる。

一言にすれば、改良主義者と共產主義者との力關係については、ブルジョアXXXやXXXやXXXやファシスト・テラーやそしてXXの迫害等を同時に顧慮することなくして云々し得る國は一つもない。先づこのことをはつきりと知るならば、彈壓にも拘はらず、白色テラーにも拘はらず、また數多の國々の革命的組合の指導者達が拷問され死刑されるにも拘はらず、國際労働組合運動に於ける勢力關係が吾々の方に優勢であることをも認識するのである。

## 現在の改良主義の様相

改良主義的労働組合運動の現在の時期を特徴付けるものは何か、改良主義的労働者運動の指導者の政策に於いて現在卓越せるモメントは何か、そしてまた第四回大會はその特別な注意を何に向けなけ



ればならなかつたか？ 先づ第一に、改良主義的右翼労働組合がブルヂ。ア國家及び資本主義的諸組織の直接の道具に轉化したことだ。數年前までは胚芽にすぎなかつたものが、最近に至つては改良主義的労働組合の有機的協働や、ブルヂ。ア國家と企業家組織へのその極めて緊密な接近といふ明瞭な輪廓をもつた政策にと發展した。最近數ヶ月間だけの出來事を見ても、改良主義的労働組合指導部が如何に甚だしくブルヂ。ア國家に接近したかがはつきりわかる。ごく最近ベルギー労働黨の中央機關紙『民衆』は、有名な右翼社會主義者ベルトランの熱烈な論文『労働者運動に於ける新しい導向』を公けにした。筆者は、全世界に於いて労働者運動は『より眞面目に』『より現實的に』なつたと強調してゐる（彼が労働者運動といふのは、改良主義的労働組合の指導者のことなのだ）。ベルトランは、二三の實例を引いて彼の根據としてゐる。即ち、曾つてのアナルコ・サンディカリストのジュオーは今や階級の協調を幹旋してをり、スキス労働組合同盟は昨年終りに開いたその最近の労働組合大會に於いて規約から『階級闘争』といふ言葉を削除し、イギリス労働組合の總評議會およびドイツの労働組合は、産業平和の政策や實質的協働の政策を遂行しつゝあると。かくて筆者は、次のやうな結論を引き出してゐる、全世界の労働者運動（改良主義的指導者のことなり）は、ブルヂ。アジーに對し、國家に對して和解的に出てゐる、蓋しそれ（労働者運動）は一の權力となつたからで、『國に對し、公共に對する責任』の重大性を自らに説き明かすものである等々、と。この論文は最高度に特徴あるものだ。

勿論こゝに問題とされてゐるのは、全國際運動の進化ではなくて、たゞ改良主義的幹部の進化であり、改良主義的組織の指導者と企業家組織の指導者との間の接近が問題とされてゐるのだ。これは確かだ。接近は益々密接に、と同時にまた愈々局限されつゝある。吾々は、改良主義的組織の幹部達がブルヂ。ア國家の中へ獨得に編制されてゐるのを見聞しつゝあり、このことは彼等の政策のうちに、革命的労働者に對する企業家と改良主義者との間の統一戦線のうちに、改良主義者による強制調停の理想化のうちに、ストライキのサポーターのうちに、經濟闘争の絞殺等の中に——一言でいへば、一方ではブルヂ。アジーとの協調政策のうちに、そして他方では革命的労働者運動の破壊のうちに、現はれてゐる。このブルヂ。アジーとの統一戦線は、現在、確乎たる完成された事實だ。それは改良主義的政策に於いて、とりもなほさず一つの新しい現象であり、既に一定の組織的形態を採つたものだ。私は、改良主義のブルヂ。アジーとの協調の實例を引用する必要もない。それは、日々の新聞によつて周知であらう。協調は、イギリスに於いては所謂『産業』平和であり、ドイツに於いては『實際的協働』であり、フランスに於いては所謂『帝國經濟委員會』への改良主義的労働組合の参加等々である。同じ現象は到る處にある。

しかし、正にこの近年におけるブルヂ。アジーとの協働の方向への轉換は、如何に説明されるか？ブルヂ。ア國家への改良主義的幹部、改良主義的機關の編入は、何故にまさに今や組織的に結晶しつゝ



あるか？——その過程は、大衆の急進化によつて喚起されるのだ！ 大衆の増大する不満、鬭争の新しい形態および方法に對する力強い欲求、どえらい經濟鬭争（イギリスに於ける炭坑夫のゼネラルストライキ、ドイツの金屬工業に於ける衝突）の中に呼氣を吐く労働者階級の増大し行く興奮に、隨伴現象としてまさに、屢述せるブルヂョア組織への改良主義的指導者の接近があることは特筆すべきことだ。こゝに外見上一つの矛盾がある。外見上ではこれは逆様でなければならぬ。資本の壓迫、資本主義的合理化の消極的結果——八時間労働制の廢止、すべての社會的獲得物の喪失——は、労働者を急進化し、彼等のうちに反抗と不満との精神を呼び覺ます。従つて改良主義者は、本來なら大衆支持の方針へ發展し大衆に接近しそして彼等の氣分を反映しなければならなかつた筈だ。ところが、實際には事物は別の轉向を取る。何故か？——何故なら、改良主義的労働者は控へ目な社會民主主義的スロ—ガンのための鬭争に於いてさへも客觀的に社會民主主義に反對して進軍しつゝあるのだからだ。丁度、例へばロシアに於いて一九〇五年の自發的運動が、實にツァーリの旗を推し立て、（私は一月九日を想ひ起す）始まつて××××××に反對して向けられたやうに、今やまた労働者の凡ゆる大衆運動は、最も初歩的な獲得物の擁護に——八時間労働制、労働保護法の擁護と、強制調停制度、資本主義的合理化等に反對して——客觀的には全改良主義的機關、改良主義的政策と戰術とに反對して向けられてゐる。改良主義者は大衆のうちに——故に大衆と共にブルヂョアジ—に向つて進軍するか——

或はまたブルヂョアジ—のうちに、即ち大衆に反對してか、何れかに支柱を探し求めなければならぬ。第三の道はない。勿論、個々の國に於いては、改良主義者は大いに劃策しようと試みてゐる。彼等の劃策とは、運動の先頭に立つてその先頭を曲げることにある。だが概して改良主義的組合と社會民主主義政黨とは、大衆の生長する不満、労働者階級の自發的衝突およびその壓力の増加と共に、ブルヂョア國家と資本主義的諸組織とのうちに支柱を見出さうと努力してゐる。かくて階級協調の偏向はかくも急速に發展し、かくて吾々はブルヂョア國家への接近および編入を見聞し、かくて凡べての資本主義的諸國に於いては、階級協調の諸形態が最近燎亂たるの狀にまで擴がつてゐる。

總評議會が、ゼネラルストライキと炭坑夫ストライキの敗北と、それによつて解き放されたプロレタリアートの最高指導部に對する不満の後に、産業平和の問題を日程に上せたことは決して偶然ではなかつた。イギリスおよびその他の國々に於ける企業家との妥協と階級協調の方針が、高まりつゝある經濟鬭争の波と平行して、同様に偶然ならず發展してゐる。そこには一つの密接な關係が存在する。吾々はそこに一つの過程の二つの側面を持つてゐる。改良主義者にあつては、それは労働者の不満と階級衝突との高まり行く波を抑止し、干かせるための、ブルヂョア國家及び企業家組織を恃みとする努力であり、再保險である。



第四回大會は、全體としての國際狀勢、増大しつゝある國家及び階級の間の國際的および國內的衝突、サヴェート同盟に對する國際帝國主義の明らかに尖鋭化した鬭争、あらゆる國々に於いて尖鋭化された労働者階級に對する鬭争の勘定をしなければならなかつた。第四回大會は資本主義的合理化の諸結果や、プロレタリアートの初等的獲得物の喪失等、並びに改良主義的指導者の進化を暴露し、かくして労働者運動の革命的翼に方針を描き示さなければならなかつた。プロフィンテルン第四回大會は、革命的労働組合運動の重要なすべての戦術問題を顧慮した。だがこゝでは、第四回大會の仕事の範圍と性質について説明するために、たゞ二三の根本的なことが述べらるべきだ。

### ストライキ戦略の諸問題

大會によつて解決されなければならなかつた第一の問題は、經濟鬭争の増大し行く形勢に於けるストライキ戦略の問題、および労働組合に於ける改良主義者の専者なる支配の問題であつた。労働者運動の革命的翼は、一方では労働者階級のすべての行動に勝利を確保し、他方では労働者大衆を階級鬭争のために獲得するために、改良主義的労働組合の内部において如何に作戦しなければならぬか？ この二問題は密接に結び付けられ、相互に有機的に合生してゐる。吾々はストライキ戦略の問題をあらゆる側面から解明し、すべての國々に於いての吾々の弱點を指摘し、且つ唯一の正しい革命の方針を

描き示さなければならなかつた。困難なことは、多數の國に於いて改良主義的労働組合の公けな機關がストライキ破りの機關であるといふことにある。改良主義者は労働者の初歩的な經濟的要求を決して代表しない。非常に多くの場合、労働者は企業家に對する鬭争に於いて、自分達が組合費を拂つてゐる組合から支持されないばかりではなく、彼等はその組織の意志に反してすら鬭争しなければならぬ。労働者は、國家、企業家組織、および多くの國において一切の行動に對して反對する強力な機關を持つてゐる改良主義的労働組合、の統一戦線に對立してゐる。この點をよく考へるならば、労働者運動の革命的翼の正しい戦術、方針の作成、少數派は如何になすべきかの指導は、極めて重大な意義を持つてゐる。吾々は、一般にストライキの指導が如何に複雑してゐるか、そしてストライキの複雑性が資本の集中と比例して如何に高まりつゝあるかを、經驗から知つてゐる。ある小工場に於けるストライキは、それだけでの事柄だ。數億萬人を左右する現在の資本主義の貴族に對するストライキは、それとは全く別な事柄となる。小工業に於けるストライキと他國のに於けるそれと密接に結びついてゐる工場に於ける鬭争とは、本質的に相異した二つの事物である。一區域に於けるストライキと國際トラストおよびシンディケートに對して向けられる鬭争とに關してもこれと同じだ。資本の集中、生産の合理化および企業家が不熟練労働力を補充やストライキ破りとして獲得し得ること等は、改良主義的組合の内部に於ける革命的労働者のストライキ戦術を、多くの障碍と結びついた非常に眞剣な



問題たらしめてゐる。その唯一つの例にすぎないが、ドイツおよび合衆國の例がある。ドイツにおいて、僅か數ヶ月前に金屬工業で一つの衝突が起つた。改良主義者は、巧妙な政策を遂行した、即ち、労働者の不平不満がまさに組合の埒を越え出ようとし、そして労働者が行動に出づることを要求したときに、組合は運動の先頭に立つて、外見上闘争を遂行するやうに見せかけて、然も實際は企業家との商談を始め、そして労働者に訴へたのである。多くの場合に於いて組合は意識的に公然の衝突を招かざらんとした。彼等は、事件を調停裁判所に引渡した。調停官は、例へばドイツではその一定部分は社會民主主義者であり、殆んどいつも労働者の不利益になるやうに仲裁判決を下した。仲裁判決が下ると、この判決、法律に従ふのだ、だからストライキを拒否するのだと組織は宣言した。衝突を仲裁判決へと導き、かくて闘争の最中にストライキを中斷する、か様な戦術はストライキ破りと同意義だ。けれども、すべての労働者、然りすべての共產主義者は、こんなことは見當もつかぬ。ドイツでは、屢々共產主義者達の間に、國家の仲裁者による仲裁判決の拘束的宣告が下された後に、混亂が起る。二三の共產主義者は、拘束的宣告が下つた後には、明かに更にストライキを續けてやることは出来ないと考へた。

従つて第四回大會の任務は、このやうな場合には同志は如何なる態度を取るべきかについて先づ彼等を啓蒙することであつた。企業家に對するストライキと、企業家並びに各工場にその指導者を持つ

労働組合とに對する闘争とは、全く異なる二つの事物である。例へばドイツに於いては、労働組合は社會民主主義的工場委員會の多數派を基礎としてゐる。そこでは、だから労働者を動員することは、労働組合や此の工場委員會に反對して彼等を動員することを意味する。私は、此の任務が如何に困難であるか、また改良主義的組合の強力な機關の意志に反してストライキをやらねばならぬ情勢に於いての戦術が、如何に複雑してゐるかを云ふ必要は恐らくあるまい。

中心問題はこうであつた。吾々——労働者運動の革命的翼——は吾々がその成員である改良主義的労働組合のあらゆる決議に、彼等がストライキに反對を表明する場合に、従はなければならぬか？

組合がストライキに反對だと言明したならば、吾々はそれに服従しなければならぬと云つた共產主義者があつた。けれども大會はそれとは別な立場をとつた、即ち、革命的労働者は、ストライキ破りの決議に従つてはならぬ。彼等は企業家および労働組合機關に反對してストライキを挑む権利を持つのみではなく、義務をも持つてゐる。

こゝに重大な『併し乍ら』があるのだ。ストライキを挑戦することは困難ではない。が併し乍らストライキを勝利に導くことは、非常に困難だ。この點に關して吾々は二重の經驗を持つてゐる。非常に興奮し易い二三の同志は、改良主義者の態度を怒つてストライキを促したのであるが、大衆の機運を考慮にも容れず、ストライキが準備されてゐないといふこと、また労働者がそのスローガンに従は



ないだらうといふことをはつきり知りもせず、即ち客觀的情勢と、吾々と改良主義者との間の勢力關係とを顧慮もしなかつたのである。他方ではまた、壓倒的な多數が其の組織の裏切りの戰術に反對し闘争を欲してゐたにも拘はらず、吾々の同志がストライキの先頭に立つことを怖れ、改良主義的組合の指導に従つたやうな場合もあつた。

大會は、正しい労働組合方針と何等共通するところのないこの二つの背犯を責めた。吾々にとつては、組合は目的ではない、物そのものではない、組合は手段であり、闘争のための組織である。組織がストライキ破りをやるならば、吾々は、それに反對してでも闘争しなければならぬ。問題は——一般的な抽象的なスローガンの基礎の上ではなくて、その時々々の従業者及び當該産業の労働者の諸々の具體的な直接的な要求の基礎の上に、諸々の力を集め、労働者を組織することである。

ストライキ戦略および戰術の根本的な諸問題と關聯して、大會に於いては、一見あまりにも初步的に見える第二義的の多くの問題が現はれた。けれどもまさに之等の問題を討議したことは、ストライキ問題の研究を總括的にし、またその方法の意味に於いて正しくした。國際労働者運動の歴史から私が知つてゐる限りでは——そして私はそれについて多少研究したのであるが——世界の如何なる労働者大會も、ストライキ問題やそれと關聯する諸問題を、實際の階級戰爭の問題として取り上げたものはない。だがまた私は、吾々がストライキ、その性質、方法等の研究に關してなほ非常に後れてゐると

云はねばならない。

現在、ストライキとは何であるか？ 階級戰爭の一挿話である。けれども、例へばイギリスの炭坑夫ストライキのやうな、形式的には經濟的性質を持つてゐるが、事實的には政治的意義を持つてゐる激しい衝突についての吾々の研究を、戰爭の領域に於ける研究と比較するならば、吾々は労働者階級およびその革命的インタナショナル——コミンテルンおよびプロフィンテルン——がブルジョアやその戰爭科學の背後に、如何に取り殘されてゐるかを認識するのである。古代ギリシヤおよびローマの戰爭を以て始まつた一切の戰爭は、あらゆる方面から研究されてゐる。大戰爭に獻げられた幾百卷の書籍は圖書館を充たしてゐる。が併し吾々は、十七週間続いたイギリスの炭坑夫ストライキのやうなかくの如き大衝突についてどんな著作を擧示できるか！ 二三のパンフレットを！ この偉大な階級戰爭が研究題目となされたか、闘へる軍隊や司令部の構成と状態、掛引、戰術が、あらゆる細目に亘つてまで研究されたか？ 軍事専門家のするやうに研究されたか？ 否。そこで吾々は、なほ多くのものを補足しなければならない。吾々は大會に於いてストライキ闘争の一聯の問題の皮切りをし、そして吾々の諸經驗の決算をなし、諸々の困難を明らかにしようと試みた、けれども尙ほ吾々は決して凡べてのことをなし終つたといふわけではない。何故なら吾々はこゝで全くの新開地に在るからである。巨大な經濟闘争は、いままなほ殆んど研究されてをらず、そしてその教訓を國際労働組合運動の



實踐に於いて利用することは不充分だ。

四七〇

## 統一問題

吾々は、既に多年の間統一のために戦つてゐる。數多の同志は、吾々の戦術が何等かの成果を示したかを問題にする。吾々は絶えず益々、統一を、統一を……と繰り返してゐる。しかるに改良主義者は古い方針を續行してゐる。吾々は總評議會が英露委員會を破壊するときも、統一を叫んでゐる。吾々の方針は急進的なものに變更すべきではないか、統一の戦術を斷念すべきではないか？——これは失望した同志達の聲であつて、労働者階級の一般的氣分を現はすものでもなければ、また革命的翼の一般的氣分を現はすものでもない。吾々の統一の方針は、指導者に向けられたものではなかつた、むしろ大衆を目當てとしたものであつた。この立場から、統一の戦術は成果を示したか？ 然り勿論だ。だから吾々はそれを續行しつゝある。けれども吾々自身の陣列の中には——これは云はれねばならぬ——確かに取るに足らぬものだが然も有害なる一つの偏向がある、それは『如何なる犠牲を賭しても統一といふ戦術』と云はれ得るものだ。統一だ、絶えず統一だ、と日毎に強調されると、統一の名において一切、しかもあらゆることをやり、そして統一のために凡べてを犠牲にすべきだといふ印象をうける二三の同志がある。かやうな氣分が現に存在してゐる。プロフインテルンは斷乎として彼等に反

對した。即ち、統一は目的ではなくて、目的のための手段だ！ かゝる滅亡的氣分は如何に現はれたか？ 多くの國々では、プロフインテルン加盟者の間違つた戦術のうちに現はれた。様々な同志はこう考へた。私は統一に賛成し労働組合の分裂に反対だ、コミンテルンおよびプロフインテルンは私が改良主義的労働組合で活動しなければならぬと決議したのだから、私はそれに従つてそこで除名されないやうな態度をとらねばならぬ、と。——吾々はドイツで、共産主義者、黨員達が、社會民主主義者の壓迫によつて、ドイツ共産黨の中央機關紙や或ひは労働組合に於ける反対派を斷罪した諸決議に同意したといふことを経験した。同志達が辯解して云ふには、『吾々は統一に賛成だからこそそれに同意したのだ。反対したなら、それと同時に吾々は労働組合で活動する可能性を奪はれてしまふだらう』と。——彼等の態度が統一の戦術ではなくて、武器を放棄する戦術であるといふことについて證明を必要としようか！ かゝる統一は安價だ。除名の前に安全であるがために、ひたすら労働組合に於いて沈黙を守り、常に社會民主主義者に賛成することが必要だといふのだ、即ち、沈黙を守れ、そして名譽のうちに死ねである。かかる俗物を何のために必要としようか。然り、これは俗物だ、共産主義者ではない！ 労働組合においてプロフインテルンの加盟者として活動するものは、大衆を獲得するために働くものだ。だが大衆を獲得することは、階級の方針の上に止まることによつてのみ出来るのだ。もしも社會民主主義者に従ふならば、闘争は何の役に立つのか？ 一體統一戦術によつて何

四七一



人が何人を獲得するのか、全くわからないことだ。第四回大會に於いてはかくの如き氣分に對して、はつきりした戦線が作られねばならなかつた。かくの如き氣分、かくの如き『理論』は、コンテルン、プロフィンテルンの原理と、大衆獲得のための吾々の活動とを阻んでゐる。

### 植民地諸國に於ける労働組合運動

第四回大會は、植民地に於ける労働組合運動の諸問題を、非常に立ち入つて取扱つた。支那、フィリッピン、印度、××等に於いては、労働組合運動は尙ほ非常に年若い。労働組合は、そこでは大戦後漸く成立したのであるが、しかも舊い資本主義諸國には缺けてゐる數多くの特質を持つてゐる。

プロフィンテルンの特殊性は、正に、それによつて團結された運動が實に統一的政治的形相と統一的イデオロギーを持ちしかも年齢と組織的構成とから言つて極めて異なつた諸々の組織から組成されてゐるといふ點にある。大會は、組合が百年以上の過去を持つイギリスの労働組合運動のための方針、だが又それと同時に漸く六年乃至八年來の支那の労働組合運動の闘争方法をも作製しなければならなかつた。また同時に大會は、アナルコサンディカリズム、ゴムバース主義に酷似するアメリカ改良主義をその獨得の特徴とするラテンアメリカの労働組合のための方針を立案した等。植民地に於ける年

若い労働組合運動の特殊性は、吾々の大會の最大の注意を喚起せしめねばやまぬのだ。

支那の労働組合運動は、確かにイギリス、ドイツまたはアメリカのそれと比較すると組織的に非常に後れてゐる、だが然し政治的にはドイツやアメリカの労働組合を數十等も凌駕してゐる。アメリカの労働組合運動は、その直接的な、狭い職務的な諸經驗の視角からみれば、歴史的高齡を持つてゐるが、政治的立場からみればそれは最も後れた支那の労働者層の水準にある。而もそれが北米合衆國——最も進歩した資本主義國に於ける労働者なのだ！まさに、植民地に於ける労働者運動が年若くして革命的精神によつて充たされ、サヴェート・ロシアの進出したる労働組合運動との統一を渴望してゐるからこそ、——吾々の大會は、これ等の國々に於ける吾々の戦術にかくも大きな注意を献げてゐるのだ。

帝國主義に對する闘争に於いては、植民地に於ける労働組合が前衛隊だ。支那の労働組合運動が世界帝國主義に對する闘争に於いて演じた、そしてまた演じつゝある役割だけでも思ひ浮べてみよ。それは異常な關心に對する解明であり、そしてまた吾々の大會が植民地の労働組合問題に拂ふ注意に對する一つの解明だ。私はこゝで、採用された諸決議を説明はしないだらう。それはその他のすべての決議のやうに非常に長い。長い決議、長いテーゼ、そして長い報告は、どうも吾々の弱點で仕方がなく。



植民地諸國に於ける労働組合運動の任務に關する討論は、労働組合の活動が本来の意味において要求する所より以上に詳細であつた。大會では、植民地に於ける労働者階級の戦術の複雑した問題全部が討議された。かくてのみ、個々の國に於ける方針とそして植民地および半植民地の全労働組合運動のための方針が描き示され得るのである。テーゼは 政治的ならびに組織的任務を取扱つてゐる。労働組合は——このことは情勢に於いて獨特なものだが——民族革命運動の前衛である。それは同時に帝國主義および國內ブルジョアジーに對して闘争しなければならず、この闘争の間に自己の階級を組織しそして農民大衆を指導しなければならない。大會はこれ等の特殊性を考慮し乍ら、植民地諸國に於ける労働組合の直接の任務を決定した。彼等が独自の力をもつてはその任務の主人公となり得ないことは明らかであつた。故に第四回大會の決議の中には次の如く述べられてある、植民地および半植民地に於ける労働者階級の問題は、全國際プロレタリアートの問題であり、さうして第一に、帝國主義諸國家に於ける労働者階級の問題である、と。そしてまさにこの所に社會帝國主義的アムステルダム・インタナショナルと革命的プロフィンテルンとの差異が示されてゐるのだ。

### 労働組合に於けるファシズムに對する闘争

かくして次にファシスト的労働組合運動およびファシスト的労働論合に對する闘争の問題が中心點に立つ。ファシズムは、ボルシェヴィズムと同じやうに國際的現象たらんとする要請を掲げて立ち、ある。その要請の権利が與へられてゐるかどうかは、それ自體一つの問題であるが——ファシズムは、階級的運動を抑壓するための方法として確かに、もはやイタリアに局限されたまゝではゐない。革命的労働組合運動のファシスト的抑壓の様々な形態が存在してゐる、即ち、元祖のイタリア式、混合したハンガリー式、特殊なバルカン式、即ちルーマニア式、ブルガリア式等の形態がある。ファシズムは色々の仕方だとへ僅か労働者の二三の層であらうとも觀念的および組織的に隸屬させようと努力してゐることによつて、普通の白色テラーや普通の反動とから明らかに區別される。ファシズムの一切の性質は反動だ。が併し反動の一切の性質が必ずしもファシズムではない。だから吾々がファシズムについて云ふならば、その労働者階級に影響を及ぼすための特殊な方法と形態とを注意しなければならぬ。これ等の方法および形態は、一方では暴力行爲、破壊、逮捕、殺害等を含み、他方では腐敗（イタリアに於けるファシスト指導者の間には、曾つての無政府主義者、社會主義者、改良主義者等がゐる）、ならびに後れた労働者に觀念的影響を與へる、企圖等を含んでゐる。暴力方法と觀念的・政治的分解作用との結合は、ファシストをして二三の所謂組合に基礎をおくことを可能ならしめてゐる。



ファシズムに対する闘争は、單にイタリアの問題であるのみならず、また國際的労働組合運動にとつて最高度に重要な問題である。如何にしてファシズムと闘争し、如何にしてファシスト的労働組合を粉碎するか？ その中に於いて一般に活動することが出来るか？ 如何にしてファシスト的労働組合に於いて活動し得るのみならず、またしなければならぬ、と。吾々は労働者に「ファシスト的労働組合へはいれ」とは云はない、むしろ「ファシズム的労働組合から出ろ」と云ふ。他面に於いて吾々は、吾々の加盟者に、「そこに僅かばかりの労働者でもゐる限りは、諸君はファシスト的組合へ最も信頼すべき代表者を送り、それを内部から破壊しなければならぬ。」と云つてゐる。イタリアに於いては、舊い労働者運動は多少とも意義ある歴史的經驗をもつて成立してゐるので、ファシスト的労働組合は主として暴力により、或ひは國家、ファシスト黨およびファシスト的機關の結合した壓迫をもつて自らを支持してゐるのだが——例へば支那に於いては、公けにさう呼ばれてはゐないが、實際にはファシスト的労働組合へ、後れた労働者の大なる大衆を引き入れることによつて、イタリアの例が模倣されてゐるのだ。

ファシズムに対する闘争、ファシズム的腐敗の方法に対する闘争は、革命的労働組合運動の最も要な實踐的任務の一つとして議事日程に上つた。大會は、如何にしてファシスト的労働組合を内部から粉碎し、その中にある後れた労働者を階級闘争のために獲得し、組合と闘争して、倦まざる闘争に

於いて大衆をファシズムに對し、その轉覆のために組織するか等を革命的労働者に教示した。大會は詳細な決議を採用し、ファシズム的反動が支配しつゝある諸國に於ける労働者運動の數多の緊急問題に解答した。イタリアが、とりも直さずファシズムの典型的な國である限りにおいて、その他の國々のファシズムに對するよりも以上の大なる注意をイタリアのファシズムに向けねばならなかつた。これは全く當然のことだ、蓋しイタリアではファシスト的労働組合が組織的および觀念的に最も進歩したからである。ここでは、ファシスト國家が労働者大衆に影響を與へようと企圖してゐる。

## 組織問題

あらゆる問題は吾々が吾々の労働組合の言葉で『組織問題』といふ概念の中に總括するところの問題にまで鋭くなつて來た。『組織問題』と吾々がいふところのものは、明らかに大衆を獲得するための方法と手段の問題である。この問題に關して非常に詳細な決議が採用された。けれども大會の經過中に、夥しい組織上の諸問題——工場委員會の問題、財政の相互關係組織系統の問題、國際宣傳委員會の活動強化の問題等——の中から、吾々の總方針と結びつけられたる一つの問題が特立した、それは殊更には何ら特別な討論を敢て喚起しはしなかつたけれども、或る程度まで紛議となつたのだ！ 次のことなのであつた、労働組合の獲得とは労働組合の機關の獲得を意味するの、か、それとも労働者や勞



働組合員の獲得を意味するのか。この問題は形式的には一見萬人に明瞭であるらしく見える。吾々が大衆を獲得しなければならぬといふことは、表面的には萬人が知つてゐるところだ。けれども吾々の運動は獨特なものであり、それは五十箇國に於ける千五百萬以上の労働者を包含してをり、組織的に非常に雑多である。故に既に解決されたかに見える問題のうちに、新しい疑問が浮び上がることは理解さるべきだ。

労働組合機關の獲得を前面に押し進めようとする、ほんの僅か現はれるか現はれぬかの一偏向が存在してゐる。機關の獲得とは何を意味するか？ 機關とは大きな一つの機械装置だ。それは、黨の政策を實行する黨員である、選ばれた技術的雇員を包括するものだ。機關の形式的獨立とか、或はまた無所屬だとかは、周知なるべきやうに、ブルジョアジーへの依存を意味する。その教訓たる一例は合衆國の労働組合官僚だ。故に『機關の獲得』といふ公式は、腐敗した反動的労働組合官僚を階級闘争に獲得しようとする希望を表現するものだ。諸々の經驗（ドイツ、フランス、チコスロヴァキア、合衆國、イギリス、バルカン等における）は、機關の反動的齒車（幹部のこと……譯者）が組合を分裂させたり、或ひは労働者がこの齒車をとり代へようとするやうに警察に訴へたりすることを教へてゐる。工場で一定の労働組合的職務を果してゐる労働者を獲得することは、勿論それ自身一つの問題である。それは幹部、鍛練な社會民主主義的反革命的機關とは、全く區別されなければならぬ。この機關を獲

得するといふ夢は、意識的反動家を革命家に大衆的に轉化するといふ夢だ。かゝる日和見主義的幻想は、稱讚されない。

然し乍ら、全労働組合機關の獲得が不可能ならば、では或ひはその幾部分かの獲得は可能であるまいか？ 反対派は地方官廳を獲得してゐるではないか！ 問題をこのやうに提出するのは間違つて提出するものだといふことを示すために、吾々は反対派による地方組織の獲得の後に於ける事物の展開を分析しなければならぬ。プロフィンテルンの所屬者が改良主義者を指導から押し退け、そしてその職務を革命的労働者に委託する場合を假定してみる。この場合において吾々は機關を獲得したのか、または大衆を獲得したのか？ 確かに大衆を獲得したのだ。吾々は改良主義的官僚を驅逐することによつて改良主義的機關を破壊したのだ。吾々はそれを如何にして成就したか？ 吾々が改良主義的労働組合に於ける大衆の獲得のための闘争に於いて独自の革命的機關を建設し、その援けによつて一定群の労働組合官僚や坊主共を倒したことによつてである。けれどもアムステルダム派は。労働者が自分達に反対してゐるので、その地位を明渡すことを好まなかつた。従つて彼等は、その陣地を確保するためには分裂をも躊躇しない。改良主義的労働組合機關とブルジョア國家との密接な接近は、ブルジョア國家機關の獲得が不可能なるが如くに、この改良主義的機關の獲得を不可能ならしめてゐる。前者も後者も、大衆動員によつて倒さねばならぬのだ。官僚を放逐し、そしてその場所に、吾々



によつて闘争のうち、建設された自己の機關の代表者を立てなければならぬ。まさにそれ故にプロ  
 フェンテルンは、機關獲得のスコーガンを掲げなかつたし、また掲げもしないであらう。まさにそれ故  
 に、吾々の考へてゐる労働組合の獲得とは、工場に於ける大衆の獲得であり、生産に於ける労働者の獲  
 得であり、そして工場と全國に於いて社會民主黨又はその他のブルジョア政黨の整調者である所の機  
 關に労働者を對立させることである。社會民主黨とは現在どんなものであるか？ それは労働者から  
 構成されてゐる一つのブルジョア的政黨だ。ドイツ社會黨や或ひはまたイギリスの労働黨を知る者は  
 それが労働者を黨員として持つブルジョア政黨であるといふこと、そしてそれらの政黨の機關とそれ  
 らの政黨によつて指導される労働組合の機關とが、ブルジョア・イデオロギー、ブルジョア的政黨、ブ  
 ルジョア的影響の擔當者であるといふこと、そしてその機關がブルジョア國家に完全に編入されてゐ  
 るといふことを確認するであらう。従つて機關の獲得について夢みるものは、履行し難い希望に接近  
 するのだ。われわれは大衆に注意を向け、そして彼等を反革命的機關に對し、社會民主黨の機關に  
 對し、反動的アムステルダム労働組合の機關に對して動員しなければならぬ。新しい指導者、新しい  
 指導、そして反動的指導者の労働組合からの放逐だ——機關の獲得ではないのだ、このことは、労働  
 組合運動がなほ統一的であり、そして革命的労働者が改良主義的組織の中にある國々に於けるプロフ  
 ンテルンの加盟者の最も重要な任務である。

### 未組織者の組織化

この問題は統一の問題と結びつけられたる一の組織問題であり、大衆の獲得に對する吾々の態度の  
 結果として生じるものである。數多の國では労働者の多數は未組織である。——サヴェート聯邦にて  
 は、人々は大きな尺度を用ゐられてをり、高いパーセントで勘定をする。サヴェート聯邦に於ける尺  
 度は實際巨大である。地球の七分の一とか、一千一百万の組合員を持つ労働組合運動とか、労働者階  
 級の九十パーセントが組織されてゐるとか——それは實際『世界的尺度』だ。その他のどんな國でも  
 かような尺度は持つてゐない。

資本主義的諸國に於いては、組織労働者の率は、なかなかサヴェートロシア社會主義聯邦に於ける  
 ほど高くない。それは出来もしないことだ。しかも全く最小限の率をもつ資本主義的諸國がある。  
 三千萬の労働者、雇傭者、および下級官吏を有する合衆國では、單に三百五十萬即ち十一パーセント  
 が組織されてゐるに過ぎない。フランスでは、労働組合にとつて問題視される一千一百万の勤労働の  
 うち、單に一百万が組織されてゐるにすぎない。日本では、總じて三十萬即ち労働者の辛くて三パー  
 セントが組織されてゐる。かくて、巨大な未組織大衆が存在してゐるのだ。それ故、二三の國々に於



ける『未組織者の組織化』の問題は決定的な意義を持つてゐる——労働組合運動が分裂し、國家と反動との壓迫によつて破壊されてゐる國々を全く除いて。上述のやうに、今言つた國々（ルーマニア、イタリー、ブルガリア等）を除いて、未組織労働者を集結することは、合法的労働組合運動をもつ國々に於いても同様非常な重要性を持つ。私は、既にフランス、合衆國および日本について述べた。ドイツに於いては、未組織者の率は勿論著しく低い。けれどもドイツに於いてもまた、プロレタリアーは全體として單に三十パーセント乃至三十三パーセント組織されてゐるにすぎない。同じことはイギリスにも當てはまる。

私は、繰り返して云ふ、未組織者の組織化は、極めて大きな意義を持つ問題であり、特に二三の國々にとつてさうだと。此の問題と關聯してアメリカに於いて全く特殊な困難が生じた。アメリカに於いては——これが特徴的なことであるが——まさに重工業は組織的に把握されてはゐない。吾々がいつも、決定的工業をどれほど重要視してゐたかは、恐らく周知なることであらう。組織化の問題で吾々がいつも目標としたことは、中心工業をねらふことだ。しかもアメリカに於いては、精煉工業、鋼鐵工業、約百萬の従業労働者を持つ自動車工業及び化學工業は組織されてゐない。纖維産業では労働者のほんの僅かな、即ち八十萬のうち約三萬が組織されてゐるにすぎない。つまりアメリカには、全く何等の組合もないが若しくはけちな組織があるにすぎないやうな産業が尙ほ澤山ある。かゝる國に於いては主要任務は、すぐての力を未組織産業へ集中せよ、労働組合を建設せよ！であるべきだ。

この任務は、一見して全くわかりきつてゐる。アメリカの同志にとつては——このことを想像だけしてみよ——けれども疑問があつたのだ。彼等はいかう考へた、吾々が労働組合を建設すれば、並行主義や分裂が生ずると。——自ら着手しようとしないうで、彼等は反動労働組合に向つて未組織を組織せよと促した。——吾々は彼等に向つて屢々云つた、諸君は労働組合官僚に對して何故未組織者をつかむように提議するのか、諸君自ら當れと。改良主義者は企業家から公然また隠然に甘い汁を飲まされてゐるのだ。彼等は労働者大衆を組織すべきやうな人間ではない。

プロフィンテルン第四回大會の僅か前に至つて漸く吾々は、アメリカの同志達をして反動家に對するアピールを斷念せしめ、彼等自身の力に頼ること、自らイニシアテイヴをとり、何人かがアメリカに於ける二千四百萬乃至二千五百萬の労働者を組織するときまで待つべきでないことを認識させることが出来た。

アメリカの同志達の間違つた態度はどういふわけであつたか？ 未組織者の獨立的組織化は統一の戦術を覆へすといふ間違つた心配からだ。宛も統一の戦術が、改良主義者に行動の自由を保證し、彼等を無益、無希望に驅使することにあるかの如くだ！



### 第四回大會と『改良主義者に強制せよ』の戦術

かゝる誤謬がまた、ドイツの二三の共産主義者によつて、ストライキ戦術の問題に關聯して犯された。彼等は曰く、吾々の任務——反對派の任務——は、改良主義者を強制して闘争させることだと。吾々は、それに對し彼等に答へた、彼等が自ら頭を割るように改良主義者を強制しなければならぬのだ。吾々は労働者の面前に彼等の假面を剥がなければならぬ。吾々は改良主義者が闘争を欲しないことを示さねばならぬ、さもなければ『改良主義者を強制せよ』といふ戦術は悪い結果を持つこととなる。吾々は改良主義者を強制するのではなくて、むしろ吾々の同志を動かして彼等自ら手を下し、そして大衆の中に飛躍を敢行させなくてはならないのだ。——私は、強調する、『改良主義者を強制せよ』といふ理論と機關を『獲得せよ』といふ理論は密接に同種のものであることを。この二つの『理論』は、反動的指導者が意識を返へし、ブルヂョアジーと關係を絶ち、そして階級闘争の側へ立つたかうといふ信念を反映するものだ。こゝにあるものはたゞサーベルを鳴らしてゐる改良主義の前に労働者を武装解除させるに役立つのみなる最も有害な幻想だ。第四回大會は、主要任務は大衆の獲得であるといふことを強調することによつて、これ等の狡猾な目論見を一切止めにさせた。

大衆の獲得！ フランスの吾々の同志は、屢々檄を發表しそしてカムパニーヤを組織した。彼等は、

いまもなほ書いてゐる『労働者よ、労働組合へは入れ』と。それに對して、私は曾て彼等に質問したことがある、諸君は何故、『労働者よ労働組合へは入れと書くのか——労働組合へではなくて、大衆の中へは入れた。』私はそれによつて、活動を工場へ移し、注意を労働者大衆がゐる場所へ集中しなければならぬと云はふとするのである。かくてプロフィンテルン第四回大會は、一般的決議ならびに諸々の國々への決議のうちに、一聯の重要な實踐的指令を與へたのである。

### 個々の國に對する大會の實踐的指令

第四回大會は、凡べての國の労働者運動の進路を示す一般的性質の決議の外に、なほ個々の國に於ける吾々の戦術に獻げられた種々の特別な決議を採用した。大會に於ける諸委員會は、合衆國、イギリスに於ける吾々の戦術に關し、またオランダ、アイルランド、ドイツ、印度、チエコスロヴァキア、支那およびフランスに於けるプロフィンテルンの加盟者の戦術に關するものであつた。既にこれ等の國々の名前を列擧しただけで労働者運動の情勢や性質の種々相を示してゐる。そしてこのために、特別な決議が必要であつた。イギリス、ドイツおよび合衆國に關する決議とともに、大會は支那の労働組合運動と印度のための行動綱領を起草した。そこに於いては、吾々は最近労働者運動の素晴らしい高まりを體驗し、巨大なストライキが全國の經濟生活を搖がして、イギリス帝國の最重要な植民地の



労働者階級を闘争の焔の中に凝結させたのである。

四八六

その全決議——アメリカ、フランス、ドイツ、支那等々の——を吟味するならば、實踐的任務や問題が、前面へ推し出されてゐるといふことが認識される。吾々が目標としたのは、最近各々の國に於いて何が起らねばならぬか、如何に大衆を組織し、如何なる層や産業の上に注意を集中しなければならぬか、如何にして組織的活動は改善され得るか、當該國のその時々組織に對して如何なる態度を取らねばならぬか、等々を指摘することであつた。大會の諸決議の中には、吾々の活動の積極的方面及び主として消極的方面が、極めて詳細に示されてゐる。それ等は、あらゆる國々に於けるプロフィンテルンの同志達にとつて實踐的方向線であり、そして最も重要な國々に於ける吾々の活動の偉大な進歩を立證してゐる。従來、プロフィンテルンの同志達の活動に當面しての困難は、何處にあつたか？ 彼等の活動は、充分に實踐的な性質を持つてはゐなかつた——従つて諸々の國に對するすべての決議には、その點に力が入れられてゐる。換言すれば、プロフィンテルンは、一般的な勸告や方向線から、如何に活動しなければならぬか、といふ具體的な實踐的な教訓へと移つてゐる。けれどもこのことは、十箇國委員會の決議の中に納められてゐるところの豊富な諸經驗に基いてのみならず出來る。諸々の決議は、實踐的任務の視角に立つて作成された。此の點に於てプロフィンテルン第四回大會は、偉業をなし遂げたのである。

確かに、個々の國々のために諸々の決議を作成することは、種々の意見の相違を來した。けれどもそれ等は、當該國の僅かばかりの代議員を除いては概して同意された。諸々の國に應じて作られた諸決議は豊富な材料を含んでをり、情勢、勢力關係、労働者階級の組織的狀態、資本主義の發展水準等々に應じて、吾々の戦術を明かに説明してゐる。

### 大會の諸委員會の活動

大會の諸委員會は、諸々の國に應じて作された決議と共に、國際労働者運動にとつて非常に重要な問題に關する一聯の諸決議、即ち資本主義的合理化やそれとの闘争や強制調停制度や社會經濟諸現象ならびに移住問題等に關する特別な決議を作成した。社會的立法の綱領は、この一群の社會經濟的問題を基礎付けた。この綱領は、サヴェート同盟の進歩的な社會的立法に基づいてをり、そして疾病や災害の際に於ける一般労働者の、全面的労働保護および利益代表、また母および乳兒の保護等々の範圍に亘つての諸要求を含んでゐる。大會のすべての決議を數へ上げることは、不可能である。従つて單に最も重要なもののみが述べられるべきである。大會は、農業労働者および林業労働者の間に於ける活動、労働組合の文化および教育活動(労働組合學校の設立、役員の訓練等々)、青少年労働者の労働組合への獲得、革命的労働組合新聞、婦人労働、労働者協同組合、労働者スポーツ、赤色救援會等々

四八七



に關する詳細な決議を採用した。プロフィンテルン第四回大會は、その他に、婦人労働者の國際労働組合委員會を設立し、資本主義および改良主義に對する活潑な闘争のために婦人労働者を獲得するための煽動、宣傳的および組織的中心機關を設立することを決議した。個々の問題に關するすべての決議の中に、吾々は、諸々の國際的經驗や特にサヴェー・ト・ロシアの労働組合運動の教訓を集め、そしてとり入れた。吾々はこれ等の諸決議に於て、適當なる實踐的な諸方針を打ち樹てたのであつて、これ等の諸決議は偉大な利益を持つてゐるものである。

### プロフィンテルン第四回大會と軍備縮小の喜劇

私は、私の報告の中で、國際情勢の分析や、戦争となるかも知れないしまた確かになるであらうところの増大しつゝある衝突等に立ち入りはしなかつた。私がそれに立ち入らなかつた理由は、此の問題が大會の議事日程で特別な要點とならなかつたからである。併しながら此の問題は、報告や討論や決議の中では、第一の要點として反映されたのである。大會の諸決議は、資本主義の現勢、販賣市場獲得のための闘争の性質、此の闘争の範圍および程度、世界資本主義の唯今の恐慌の原因および性質等々に關する判断を含んでゐる。大會開催中に資本主義諸國家の軍備縮小の談判の真相が幾分暴露され

たので、プロフィンテルン第四回大會は、武装解除の問題やアムステルダムがブルジョア政府の代辯者として参加してゐるゲンフに於ける喜劇の問題等に對してもまた對策を講じた。吾々は、吾々の檄文の中で資本主義諸列強の積み重ねられつゝある對立や彼等が軍備縮小を妨害しつゝある諸々の事實を記述した。資本主義的諸國家は、武装しつゝあり、労働者階級およびサヴェー・ト同盟に對する決定的闘争のために準備しつゝある。吾々は、此の同じ檄文の中で、軍備縮小の問題に關して、アムステルダムや第二インタナショナルの役割を強調してゐる。彼等の役割は、諸々の戦争準備を支持することより以外に評價されることは出来ない。アムステルダムが、サヴェー・ト同盟の軍備縮小を否決した際に、ブルジョア政府を支持したことを思ひ浮べてみよ、然らば國際改良主義がブルジョア國家の利益に如何に屈從してゐるかを認識するであらう。アムステルダムの役割は、驚くにあたらぬ。アムステルダム・インタナショナルは、究極するところ擧取者自身の地位を代表してゐる。

だから吾々も亦、資本の走狗の汚れから、労働者諸組織を斷乎として、徹底的に洗ひ清めねばならぬ。

### 第四回大會に於ける自己批判



大會の諸活動、議事日程の全要點、及び採用された諸決議を通じていさゝかも顧慮する所のない自己批判が、一本の赤い糸のように通つてゐる。全ての決議——すべてで三十五であるが——の中には、詳細に吾々の缺點について述べられてゐる。世界各國の改良主義的出版物は、既にその大部分吾々の自己批判を利用した。吾々は、公然と吾々の弱點を述べ、公然と吾々のイデオロギー的、政治的および組織的缺點を明らかにした。吾々は、それを隠蔽しなかつたしまた世界各國の社會民主黨やアムステルダム、インタナショナルがそれ等の缺點を吾々に訴へて、漁夫の利を占めるであらうことを怖れはしなかつた。吾々は、何等の自己批判もされなかつたり、墓場の様に靜に口をふさいでゐるようなアムステルダムではない。アムステルダムでは、イデオロギー的・政治的問題に關して論争が試みられるのではなくて、誰が書記として一萬グルデンを納めるだらうとか或はまたどの民族が議長を立てねばならぬかについて争はれてゐる。吾々の大會に出席した五十箇國の代議員達は、それとは別な心配を持つてゐた。彼等は、これやあれやの國々の革命的組合に於ける停滯の原因や、これやあれやの國々に於ける満足するほど活潑ではない發展の原因、敗北の原因等に對し關心を持つてゐた。このことは、吾々の注意の中心點となり、それについて吾々は興奮して意見を交換した。吾々は諸決議に含まれてゐる大きな吾々の誤謬を怖れる所なく暴露したのである。

大會は、あくまで無慈悲な自己批判をやつた。私の判斷するところによれば、それは、最も積極的

な側面の一つである。重大な政治的意見の相違は、殆んど一般に起らなかつた。同志ニンは、吾々の黨内の二三の意見の相違を發表しようとして試みた。けれども彼が表現した形態は、どつちつかすの不明瞭なものであつた。それは、何等の印象をも残さなかつた。既に述べたように、重大な政治的對立は、大會に於てはなかつたのである。個々の問題に關する論議や個々の點に關する激しい討論、——それはまさに發展しつゝある、又は、高揚しつゝある組織の中で、常に有り勝ちなようになつた。自己批判や吾々の誤謬の分析によつて、吾々は、吾々自身の當面した問題を激しく問題とし、そして一聯の諸問題に關し、全世界の革命的勞働組合運動の規準となるであらう重要な諸々の決議をなすことが出来たのである。

### プロフィールテルンの行動綱領

諸方針とかすべての重要問題の分析とかまた諸國に對する特別な綱領等の他に、大會が作成したものは、統一戦線の國際的基準として役立つべき一般的行動綱領である。行動綱領は、十八ヶ條から成つてゐる。それは七時間勞働制のスローガンを以て始まり、統一的インタナショナルのための闘争のスローガンを以て終つてゐる。吾々の綱領の中には、どんな改良主義的勞働組合の成員によつても承



諾され得るような要求ばかりである。だからそれ故に、吾々は、吾々の行動綱領を名付けて、統一戦線の國際的基準、といふのである。簡條を算へ上げるならば、七時間労働制、全面的な労働者保護、統一のための闘争、ファシスト的組合および黄色組合に對する闘争、分裂に對する闘争等々で充分である。——既に述べたように、これらの簡條を算へ上げることは、それが世界プロレタリアートの最も廣汎な大衆にとつて國際的尺度に於ける統一戦線の一般的基準と成り得ることを認めるに充分である。

### 革命のおよび改良主義的實踐

大會は、特に實踐的方面を特に問題とした——だが併し、改良主義者の意味に於てではない。改良主義的立場から言へば、現實主義とは、労働者階級がブルジョアジーとの統一の基準を探し求めなければならぬことを意味する。吾々の大會は、それとは別な立場をとつた。吾々の活動に於ける現實主義は、吾々が大衆に接近する最も簡単な、實踐的方法や手段を探し求め、大衆を階級闘争のために獲得し、彼等を改良主義者の影響から解放して國際的闘争に獲得しようとするにある。此の視角に立つて、吾々の決議が立案されてゐる。この同じ視角に立つて、吾々は、プロフィンテルンに加盟してゐる諸組織のために、諸々の方針を打ち建てたのである。

それだからと言つて、大會が労働者階級の一般の問題を問題としなかつたとは言はれない。まさに改良主義者と革命家との相違こそは、改良主義者の立場からいへば諸々の具體的要求がブルジョアジーとの和睦とならなければならぬのだが、それに反し革命家にとつては、労働者の諸々の實踐的直接的要求のための闘争が被搾取者を搾取者に對立させるための出發點を形成するといふことである。吾々の現實主義は、自己目的ではなく、むしろそれは、階級闘争の土臺の上に大衆をよりよく組織し結束させるための手段である。それ故に、改良主義的「現實政策」は敗北から敗北へと道が通じてをりそれに反しプロフィンテルンの同志達の革命的現實主義、換言すれば労働者階級の直接的任務と一般的任務との結合は、改良主義的「ブルジョア的袋小路から出口を切り開くことを可能ならしめてゐるものである。

### 労働組合とプロフィンテルンのその他の部分

プロフィンテルンは、現在約千七百萬の労働者を結合してゐるが、そのうち一千萬はサヴェート同盟の労働組合に屬してゐる。これは、大きな割合であり、従つてその他の部分の意義を輕視すること



が確かに出来る。サヴェート同盟に属するものは、一千萬の組織労働者であり、そしてその他の加盟諸國は六百萬乃至七百萬だとすると、國際労働者運動に於ける革命的労働組合運動の比重は大なるものではないといふ思想は、成り立ち得る。併し乍ら既に私は、數的勢力が運動の重要性を規定するものではないことを述べた。サヴェート同盟プロレタリア獨裁の第十一年目にあると云ふこと、及びその理由によつてのみ、サヴェート同盟の労働組合運動が一千萬を包含してゐると云ふことを決して忘れてはならぬ。ファシスト國家の最も強力な壓迫を運動の上に受けてゐるイタリアに於て、非合法的な労働總同盟が一萬二千の同盟員を持つてゐる場合、これは數十萬の労働者に對する事實上の影響を持つてゐることを意味するものである。だから同じ様に單に少數の労働者が組織されてゐるに過ぎないけれども革命的労働組合運動の影響が非常に強力である様な多くの白色テラーの國々にもこのことはあてはまる。革命的労働組合に所屬してゐるといふ理由から、最大の迫害を加へられてゐるルーマニアやブルガリアや或はまたギリシヤに於ては、大衆に對するプロフィンテルンの同志達の影響は、組織された者の數によつては量ることが出来ない。彼等同志達の影響は、あまり著しい數でないにも拘はらず、労働者階級の多數の上に擴がりつゝある。従つてサヴェート同盟以外のプロフィンテルンに所屬してゐる六百萬乃至七百萬のプロレタリアの比重についてはつきりと知らうと思ふならば、プロフィンテルンの背後には支那の全労働組合運動があると云ふこと、及び一聯のラテンアメリカ諸國では組織

労働者の壓倒的多數がそれに加盟してゐると云ふこと、またXXやフィリッピンやその他すべての植民地諸國では、白色テラーの支配が行れてゐるにも拘はらず、そこに重要な支點を持つてゐると云ふこと等を思ひ浮べなければならぬ。更にまたプロフィンテルンの同志達が、所謂ブルヂョアデモクラシーの國々即ちフランスや合衆國等々に於てさへも迫害され狩り立てられつゝあることを決して忘れてはならぬ。單にこれらすべてのことを考へに入れただけでも、サヴェート同盟以外のプロフィンテルンに屬してゐる六百萬乃至七百萬の組織労働者の持つてゐる意義から一つの正しい觀念を作ることが出来るのである。

サヴェートの労働組合運動は、プロフィンテルンの最も重要な部隊である。サヴェート同盟の諸經驗は、現在頗る偉大な役割を演じつゝありそしてまた演ずるであらう。併し乍ら、すべてのサヴェートロシアの教訓が、外國に於て唯今直ぐ利用され得るといふわけではない。その二三のものは既に今や利用されてゐる、が併し多くのものは、ブルヂョアジーに對する勝利の後即ちプロレタリア革命の後に至つて始めて利用され得るであらう。何故ならば、サヴェート同盟に於ける活動の諸々の形態や方法は、吾々労働者階級の勝利と、多數の困難に對するその十箇年の闘争等の結果だからである。勿論すべての經驗をすべて國際労働組合運動に利用するといふことは、出来ないであらう。

吾々が假に數萬乃至數十萬を團結してゐるにすぎない労働者の部分を上から見下ろさうとするなら



ば、吾々は、非常に大なる誤謬を犯すであらう。さうすることは、如何なる場合にあつても正しくない労働組合の自惚れであるであらう。

四九六

### プロフィンテルンに對する改良主義者の態度

改良主義者が、サヴェート同盟の労働組合の成員と外國に於けるプロフィンテルンの現在の成員との勢力關係から、自らの結論を引き出してゐることは、勿論のことである。改良主義者は言ふ、プロフィンテルンのうちには、單にサヴェート労働組合が把握されてゐるにすぎないのであつてその他の組合は一般にそこには殆んどないのだ、と。改良主義者は、その際非合法的或は半合法的労働組合運動を考慮に入れてゐないのだ。

本年の三月、フランスの改良主義的労働組合運動の指導者ジュオーは、労働總同盟の聯合委員會に於て演説をなし、その中で次のことなどを述べた。「吾々がプロフィンテルンのように多くの金を持つてゐるならば、吾々は、吾々の代表者を日本や支那や南アメリカへ送つて吾々の能力を證明することが出来たであらうが」と。——曾てヨーロッパ以外の國々を不問に附したところのこの同じ紳士達は、今や突然かゝる問題を議事日程の上にのべてゐる。改良主義者は不安であり、労働者運動が彼

等に對し分列行進をやる領域へ彼等の兵卒を送りたいのだ。彼等は、新しい國々——最近國際労働者運動の舞臺に登場した國々——の労働者運動がその顔をモスクワに、即ち全世界の労働者を引きつけるどえらい磁石に、向けつゝあることを知つてゐる。改良主義者は、新しい國々の労働者運動をプロフィンテルンやモスクワから分離するために、彼等がそこで如何に「活動」し得るかを篤と考へ始めつゝある。彼等は、數年前に、サヴェートロシアの労働組合は存在してゐないのだと言つたが、今では、サヴェートロシアの労働組合だけはあるが、プロフィンテルンは事實上存在してゐないのだ、といつてゐる。アムステルダム・インタナショナルの副會長であり、それと同時にゲンフに於けるポアンカレの腹心であるレオン・ジューオーは、けれども日本やラテンアメリカやそしてまた支那へも旅行したいのであり、そこでプロフィンテルンからその労働組合を奪ひ取りたいのだ。誰だつて、支那や印度へ旅行することは出来るが、たゞ何をやつて来るかが問題なのである。パルセル君が、最近印度に五六ヶ月滞在したが、このパルセルは、モスクワで自分の胸を打ち、自分は吾々を愛する、革命を愛する、そして一般にすべてのものを愛する、と斷言したところの同一人なのである。このパルセルが、インドの労働組合に何を忠告したであらうか。彼は、先づ、第一に、彼等にアムステルダム・インタナショナルへは入れと忠告し、そして第二に、サヴェートロシアの労働組合が外國の事件に干渉する等々なことや又、プロフィンテルンと協力してはならぬこと等を話したのである。

四九七



## 植民地に於ける吾々の影響と改良主義者の秋波

パーセル君は、印度で如何なる役割を演じたか？ それはイギリス帝國主義の代辯者の役割である。マクドナルドやトーマス一派は、もはや印度へ旅行することが出来ない。印度の労働組合運動の先頭には、改良主義者が立つてゐるとはいひながら、誰も彼等の名をそこで聴くことは決してないであらう。けれどもそれは、イギリスの同僚にとつて何にも残してはゐない。印度の改良主義者の事だ。従つて印度の改良主義者を説得するために、總評議會の左翼の代理人が派遣されてゐる。「左翼」と「右翼」——何によつてさう區別されるか、また殊に印度に對してとつた彼等の態度に關しては、實際何んとも言ふことが出来ない。パーセルといひ、トーマス、マクドナルド、シトリン等々といひ、彼等は、印度がイギリスの植民地のまゝであることを賛成してゐるのだ。

ジュオー君は、今やフランスの植民地に於て何を企てつゝあるであらうか？ 昨年、彼がチュニスおよびアルゼリアへ旅行した結果は、彼がフランス政府と共同して労働組合を組織的に破壊することであつた。アムステルダム一派が植民地へ旅行すれば、單に禍ひを起すのみである。

日本に於けるジュオーの政治的友人、鈴木文治は、上海へ旅行しそしてアジアのための労働組合

インタナショナルの創立について上海の労働組合と交渉しようとした。けれども事件は、水泡に歸した。今や日本の改良主義者の指導者、鈴木は、國民黨と兄弟の交を結んでゐる。彼がさうするつもりなら、國民黨と彼とは、好取組の合棒となることが出来るのだ！

従つて諸々の威嚇や憐憫は、改良主義者の單に財政上の破綻のみならず、その政治的破綻をもまた反映してゐる。彼等は、植民地に於ける労働者運動に對し言ふべき何もをも持つてをらず、またそこで探し求むべきなものを持つてゐない。なんとなれば、彼等は、植民地で帝國主義者と統一戦線を作つて労働者階級に反對し、植民地民族の獨立に反對するだらうからである。これらの紳士達が、言葉によつてではなくてむしろ行爲によつて植民地やラテンアメリカに於ける労働者運動を救援しようと思ふなら、彼等は、プロフィンテルンがやつたように、太平洋労働組合書記局や最近組織されたラテンアメリカ労働組合同盟を支持しなければならなかつたであらう。併し乍ら彼等は、反對の事をやつてゐる。彼等は、植民地に於ける労働者大衆を組織しようとする各々の試みに對し、最も尖鋭化した手段をもつて反對し、太平洋書記局やラテンアメリカの労働組合同盟の聲價を失墜させようと努力してゐる。といふのは、この二つの組織が、その基準の中へ階級闘争や植民地民族の獨立に關する項目を採り入れたからである。かうした情勢の下では労働者運動に對し秋波を送ることは、改良主義者やその委任者達に單に失望しか與へないに違ひないのである。



確かに、植民地やラテンアメリカや極東やそして殊に資本主義諸國に於ける吾々の影響は、未だなほ充分ではない。吾々には、重大な敵が對立しつゝある。重大な敵といふのは、イギリスのブルヂ・アジ、ならびにアメリカのブルヂ・アジ、ドイツ、フランスおよびXX等のブルヂ・アジであり、それと同時にまた彼等とともに轉覆されなければならないドイツ、イギリス、アメリカ、XX、その他の國々の労働組合官僚である。彼等は、ブルヂ・アジ國家と非常に密接に合生してゐる。だからそれとともに一緒に打ち倒されなければならない。このことは、今日もはや動かすべからざる事實である。彼等は、その運命をブルヂ・アジの運命と結びつけた、そしてブルヂ・アジと一緒に没落するであらう。

## 大衆の中へ入れ

吾々は、なほ諸々の大きな障礙に當面してをり、又多くの困難を克服することがなほ重大である。幾千萬の労働者は、なほ未だ組織されてをらず、幾千萬の労働者はなほ單に改良主義者のみならずまブルヂ・アジの影響の下にもある。幾百萬の労働者は、なほドイツや合衆國でブルヂ・アジに同意してをり、幾百萬の労働者はイギリスで保守黨や、自由黨に同意してゐる。プロフィンテルンお

よびコミンテルンの道は、なほ多くの墓の上へ通じてゐる。併し乍ら問題はかうだ。吾々は、障礙を乗り越えるか、進むか、或ひはまた死地から出ないか、退却するか？ 最近の大會の活動や、大會に於ける代表や大會に於ける基礎および大會以前に於ける吾々の基礎が足場を與へてゐる以上は、吾々は、吾々がたとひ緩慢であり、停滞しようとも、絶えず一層行進しつゞけることを確信することが出来る。前進をより一層敏速にし、大衆の獲得を促進し、吾々の影響を絶えず益々擴張するため——この目的のために、吾々の大會に於ては數多くの決議が採用され、そして實踐的方針が作成されたのである。これらの方針を、一つの精神、一つの思想が充たしてゐる。それは、國際労働組合運動の任務に關するテーゼの最後の文章の中に、明瞭に表はされてゐる。即ち、『職場の中へ入れ、大衆の中へ入れ』と。これは、吾々の合言葉であり、そしてプロフィンテルンの同志達によつて行爲に移されるであらう。

(山中譯)

〔ローテ・ゲヴェルクシヤフツ・インテルナチオナール誌、一九二八年四月——五月號所載〕



プロファインテルン第五回大會

—一九三〇年九月二十日づけの論文—



第四回大會以來、プロフィンテルンの敵、國際的革命的労働組合の敵はありとあらゆる不幸と禍とを豫言して來た。『新戦術は大眾からの孤立を意味する。新戦術は自殺である。新戦術はプロフィンテルンの終焉である。新戦術は全戦線に亘つての分裂である。』——ここのいふ、又これに似た見出しが、自分がプロフィンテルンの革命の方針から逸脱したのを理由づけようと努めてゐる右翼、『左翼』の機關紙の全紙面を埋めた。『新戦術の破滅的性質』に關する不吉な判断は無數になされた。第四回大會以後の二ヶ年半は、ブランドラー、ワルヘル、ウルバインズ、モナッ、ト、シャ、ン、ベ、ラン、より、ハイ、ス、キ、ヤ、ハン、ラ、ヴ、ス、ト、ン、ハイ、ラ、イト、ロ、ズ、メ、ル、ト、ロ、ツ、キ、ーに、至、る、ま、で、の、あ、ら、ゆ、る、色、合、の、『賢明』な、『思慮深き』、『マルクス主義的教育のある』反對派の豫言、豫告で満たされて居た。これ等の『批判的に思索する』人々は、各自にコミンテルン及びプロフィンテルンを孤立と破滅から救ひ出す事について獨特の處方箋を持ち合はせてゐるのだ。これらの救済者共は、無智であると同時に傲慢な三文豫言者とそっくりである。

それならば、プロフィンテルンの『自己孤立化』と『自殺』云々の彼等の豫言はどんな實證を受けたか？ 第五回大會は、プロフィンテルンの右翼、『左翼』の敵に對して粉碎的な返答を與へた。何故なれば、大會は、プロフィンテルンの影響がその廣さに於てまた深さに於いてどれほど擴大したかを言葉によつてではなく行動によつて示したからだ。それには、第五回大會に於いて六十一ヶ國の労働



組合運動が代表されてゐたこと、大會代議員の八〇パーセントは工場から來た労働者であつたこと、今年の中に、始めて世界の労働者運動と接觸した數多くの國の労働組合運動がプロフィンテルンの側に獲得されたこと（グアテマラ、サン・サルヴァドル、バラグアイ、パナマ等）を指摘すれば充分である。これらの事實は、經濟闘争の獨自的指導が孤立化の原因とはならずして大衆との結合の強化に導いたこと、そしてまた婆さん連の不吉な豫言が何等かの特別の賢明さや洞察の所産ではなく、彼等の政治的浮薄さやその社會民主主義的イデオロギー並びにその大衆運動との接觸の完全な排除によるものだといふことの証明である。

先づ第一に、第五回大會は廣汎な大衆を代表してゐた。何となれば、廣汎な大衆が世界労働組合運動の最も重要な問題を討議した後、更に、成果を綜合し今後の行動方針を作製する爲に直接工場から労働者を派遣したからだ。この點に關しては、第五回大會はプロフィンテルンの一切の大會の中で一番はぬきんでてゐる。なんとすれば、工場から労働者を派遣する事は、プロフィンテルンの支持者にとつては非常に困難なことだから。既に、労働者や婦人労働者が大會に参加した廉で解雇されたといふ報導が諸『民主主義』國から來てゐる。解雇や逮捕の危険、更に殺害の危険（支那、イタリー、バル

カン諸國）をも冒して、世界の隅々から労働者達、労働者大衆の利益を代表する眞實の大衆の活動家が大會に出席した。アムステルダム・インタナショナルの大會にこんなことが一度でもあつた事があるか？ しかもアムステルダムの一黨は法律の保護を受けてゐるのだ！ 彼等は、吾々が——特にサヴェーイト同盟において——やつてゐるやうに、工場内で實際の選挙を行はせることが出来たのだ。だが何のためにアムステルダムに工場からの労働者が必要なのだ、何のためにプロレタリアが必要なのだ？ このインタナショナルが必要とするのは徹頭徹尾の官僚であり、企業家及びブルジョア政黨と結びついた人々であるのだ。何故なら彼等の『活動』にとつては工場の労働者は役に立たないからだ。

プロフィンテルン第五回大會は、その社會的構成に於いてその參加國の數に於いてその準備方法に於いて、廣汎に代表されたことに於いてその議題の性質に於いて、また個々の問題の討議の方法に於いて、前月ストックホルムに開催されたアムステルダム・インタナショナル第五回大會とはよい對照である。アムステルダムの一黨は、かやうな比較を避けてゐる。彼等は今日に到るまで十年一日の論法（プロフィンテルンはコミンテルンの支部だ、人民委員會の道具だ、等々）を以て自ら慰めて來た。けれども彼等は、この二つの大會を對比せしめる事を恐れてゐる。つまり、さうすれば、最も遅れた労働者でさへこの二つの會議が夫々異つた世界を代表してゐる事を一目で見抜くだらうからだ。即ち、一方の代表者は、古い徹の生えた組合官僚、國際聯盟及び國際労働局の共犯者、資本家との秘密の取



引きとストライキ殺殺との常習者、戦時中及び戦後に於いて裏切の経験に富んでゐる人々、國際的傳統、民族的榮譽並に帝國主義的慾望の名譽ある合法的擔當者、教會の忠實なる子達、國際的警察の保護に與つてゐる先きの大臣に未來の大臣、一言で云へば労働組合の商賣人であり、他方では、國外脱出に苦勞せねばならない平労働者、牢獄を媒介としてのみブルヂア國家に結びついてゐる處罰され迫害されてゐるプロレタリア、工場と農場とから、階級戦の戦線からやつて來た人々が『故國』に歸れば解雇、牢獄、時には死さへも待つてゐる事を知りながらも代表者として出席してゐる。一つの大會ともう一つの大會とこれ以上明瞭な區別を持つてゐる事があり得ようか？ 確かに、これは相互に相排斥し合ふ二つの世界である。この二つの大會はバリケードの二つの側を象徴してゐる。そしてこの點にプロフィンテルン第五回大會に非常な重要性と歴史的意義とがあるのだ。

\*

\*

\*

\*

革命的大會は、觀兵式でもなければ、遠足や祝辭演説會でもない。それなればこそ第五回大會は、その開會後直ちに、労働者運動が當面する最も重要な戦術上の問題の解明に従はねばならなかつた。また、それなればこそ吾々も各種の組織から大會に送られた挨拶（コミンテルン、太平洋労働組合書記局、ラテンアメリカ労働組合聯盟、等々よりの）を退屈きはまる儀禮とは見ずして、別れて行進は

するが共同の目標を逐ふ各組織の政治的連帯行動として見たのだ。プロフィンテルンの大會に於いてなされた挨拶は、その中に國際労働者運動の最も重要な諸問題が提起されてゐるのを常とする點に於いて明確な政治的性質を帯びてゐる、それ故にこそ吾々の大會の席上でなされる挨拶の中には、豊富な批判と自己批判が、アムステルダム派の大會では到底聞くことが出來ないやうなことが見出されるのだ。何故ならアムステルダム派の大會に送られる挨拶は傳統的に僞善的であり、恰も結婚式の祝辭のやうな甘辛いものであるからだ。最後に吾々の大會に於いては、大工場や、共同經營農場の代表者が挨拶をした。それにつれて直接に社會主義建設の場所から大會に來た労働者が示威を行ひ、工場及び農業の發展並びにその發展の嵐の如きテンポの熱火をそのまゝその中に示した。これも亦アムステルダムの歴史に於いては前古未曾有のことであり、嘗てなかつたものである。アムステルダム・インタナシヨナル、ドイツ労働總同盟、イギリスの労働組合の大會で、工場からの労働者が挨拶したためしがあるか？ 吾々は、そこで、大臣、大僧正、市長等といふ『勤勞者』の代表が祝辭を述べることは知つてゐる。だが労働者がそこで發言したなどとは聞いたこともない。それ所か、工場の労働者が改良主義者諸君の大會に『忍び入つて』何か云はうと試みやうなものなら、警官の助けを借りて場外に追ひ出されるといふことは周知のことだ。それも無理からぬことである。企業家や企業家の大臣を賓客として歓迎するところでは、労働者の激情的な演説は許されない。



第五回大會は、先づ第一に、第四回以後の國際プロレタリアートの闘争の成果を綜合し、プロフィンテルンの各支部は如何ほどまで經濟闘争の獨自的指導のスローガンを實行に移したか、また革命的労働組合運動は如何ほどまでに經濟闘争と政治闘争とを結びつけ大衆の中に深く突き入つたか、それを検討する任務を持つてゐた。資本主義的合理化の状況下に労働者階級が闘つた最近二ヶ年半は、巨大なる階級衝突によつて充たされてゐた。第四回大會は始めて昂揚の劈頭に、世界經濟恐慌、巨大なる失業、無遠慮な資本攻勢ならびに労働者階級の逆襲の情勢の下に開かれた。ストライキ運動は一九二八年に於いて著しく上昇したが（ロッヅ、ルールの金屬労働者の閉め出し、ボンベイのストライキ、北フランスのストライキ等々）、その當時はプロフィンテルンの各支部は經濟闘争の獨自的指導の戦術の遂行に着手し始めたばかりの所であつたので、正にこれらの争議に於いてプロフィンテルン支持者の活動を阻害する巨大な弱點、缺陷が表はれた。ストライキ戦略の領域に於ける國際労働者運動の經驗を特別の會議（フランクフルトに於ける）で綜合する試みは、何等直接の結果を生まなかつた。プロフィンテルンの各支部は、闘争を、逡巡しながら、不器用に遂行したのみであつたが、始めて自分自身の經驗から學ぶところがあつた。一九二九年のストライキ運動は規模に於いて稍一九二八年に劣

つてゐたが、質的には勝つてゐた。原則的な理由から新戦術を拒否した右翼的分子は、間もなくプロフィンテルンの陣列外に追ひ出された。明白な方向轉換が認められた。プロフィンテルンの各支部は、新戦術を行はうと試みたが、また彼等に覆ひかぶさつてゐた舊習の壓力は尙ほ非常に強かつた。ストライキはすべて新方針のための闘争の舞臺とされた。一九二九年の全部と一九三〇年の上半期とは展開しつゝある大衆運動を獲得するための激烈な闘争が終始した。プロフィンテルンの各支部は、運動の先頭に立ち、大衆闘争を眞に指導することが出来たか？ プロフィンテルンの諸組織は、激烈な階級闘争の水準を高め、ストライキ運動を正しく指導し、大衆の間に得た影響力を革命的方法で確保することを得たか？ まだくなし得なかつた。

この年月の間、プロフィンテルンの諸組織の成長は階級闘争の發展と激化のテンポに立ち遅れた。多くの場合、吾々の諸組織は、事件をとり上げず、動搖、積極性の缺陷、掛け引き能力の缺陷、そして時には吾々の階級敵、企業家及び社會ファシストの掛け引きに面しての無能さを暴露した。

過去二ヶ年半の間のストライキ運動の歴史は、客觀的要因と主觀的要因との間の不釣合の興味ある概観圖である。

近來のストライキ運動の特徴はどういふ點にあるか？ ストライキ数は減少してゐるにも拘らずストライキは幾多の國々に於いて益々激烈になつてゐる。どんな些細なストライキでも巨大な政治的事



件にと轉化する。ストライキは文字通り血みどろの戦闘に化した。そしてその戦闘に於いて企業家、ブルジョア國家、社會ファシスト達は××せる労働者を鎮壓するためにあらゆる努力を拂つてゐる。過去一ヶ年半のストライキは、ドイツ、フランス、ポーランド、ラテン・アメリカ、アメリカ合衆國、支那、日本、イギリス並びに遠隔なオーストラリアに於いて、一言にして云へばあらゆる所に於いて如上の激烈な性質を帯びてゐる。單にファシズムと白色テロルとの諸國に於いてばかりでなく、所謂民主主義國家に於いてさへ、平和的な經濟争議は過去の事柄となつた。一切のストライキ、一切の閉め出しが、激烈なる階級衝突に轉化し、ブルジョアジーの全勢力が運動の抑壓のために動員される。

\*

\*

\*

\*

この、階級關係が益々激化して行く情勢の下に於いては、プロフィンテルン各支部はその活動を十倍にせねばならぬ。それは、有利な情勢を、益々廣汎な大衆を闘争に引き入れるために利用すべきであつた。だがストライキ運動の精密な分析は、プロフィンテルンのあらゆる支部が客觀的には有利な情勢を利用したのではないし、また、絶えず利用したわけでもないことを示してゐる。革命運動が強大になるにつれ、また階級衝突が激烈になるにつれブルジョアジーは益々革命的労働組合を粉碎せんと試みて來た。幾多の國々で支配階級は革命的労働組合運動を地下に追ひ込むことが出來た。これは

疑ひもなく敗北である。第五回大會もまたその敗北であることを公然と聲明してゐる。幻想を抱いて敗北を勝利と思ひなすことは、最も行つてはならぬことだ。それは問題に對する眞面目な態度ではない。他方、また革命的労働組合の大會は、國際労働者運動は絶えず敗北を蒙つてゐるとか、プロフィンテルンの勢力は低下したとか、労働者階級は防衛の状態にあるとか云ふ、右翼の代表する町人的立場を取るものではない。これらの者は、階級闘争を、彼等自身しか知らぬ特種な定規の枠内に押し込めようと欲するのだ。彼等は、闘争には敗北もまた避け得ないことを理解しない。彼等には、労働者階級が防衛より逆襲に移行したこと、我々の諸組織、諸勢力が、ブルジョアジー、社會ファシズムの強力な襲撃にも拘らず存在を續けてゐる、——たとへ地下的潜在にもせよ——と云ふ事實が、既に革命運動の巨大な生活力と力との証據であることが分らない。彼等にはかういつたことがすべて分らない。そして萬國の日和見主義者がプロフィンテルンに辿らせようと欲してゐる道を、プロフィンテルンが歩まないと云ふので、彼等はプロフィンテルンに向つて絶叫し罵るのだ。

\*

\*

\*

\*

プロフィンテルン第五回大會は、情勢の評価に當つて、資本主義諸國及び植民地諸國に於て不斷に階級對立が激化しつゝあるといふ點から出へした。



大會が終るか終らぬ中に、大會の下した情勢の評價は幾多の事件によつて確證を受けた。ドイツの國會選舉は、革命及び反革命の勢力の兩極化と、二つの極面へのその集中とを示してゐる。ポーランドに於ける出來事は重大な政治的危機の要素を表はしてゐる、印度、支那、遠隔なオーストラリア、バルカン諸國に於ける革命的闘争の成長はすべて、第五回大會の諸決定の正しさを見事に確証してゐる。

第五回大會は革命的昂揚の成長から出發して、は、さ、み——政治的影響とこの影響の組織的定着との間の——を減少せしめること、労働者階級の多數者獲得を達成すること、を全世界の全革命的國際労働組合運動の緊急任務とした。だが、それにはどうすればよいか、勢力結集の過程を促進せしめるにはどうすればよいか、大衆をブルジョアジー及び社會ファシズムの影響下から解放する過程を一層強力にするためにはどうすればよいか、これが、大會がそのすべての決定を通じて答へてゐる問題である。急速に展開しつつある事件に應ずるためには、大衆の先頭に立つて行進しその後からついて行かぬやうにせねばならない。これは、現在の具體的情勢の下、全労働者階級の生活状態に對する野獸的な攻勢の情勢の下に於ては、經濟闘争を組織する問題がプロフィンテルンの全支部に課せられねばならないことを意味する。それには、労働者の日常利益と日常要求に最大の注意を拂ふこと、増大しつつある不満を指導し、組織的政治的に結晶せしめ、これに組織的な形體を與へ、日常要求のため

の闘争を労働者級の一般的要求のための闘争に結びつけ、そして最後に、政治上の收穫を撓まらず組織上に確保することが必要である。これがすべての意識的プロレタリアの當面する任務である。

\*

\*

\*

\*

第五回大會は、特に經濟闘争の組織を強調した。何故なれば、これこそ、現在に於て前進せんが爲には把らねばならぬ楨杆だからである。だが、これは、第五回大會は經濟を政治から切離し、經濟闘争を階級闘争から切り離したといふ意味ではない。否、それは大會が、情勢の一般的評價から出發して、賃銀、労働時間問題が現在に於てこそ一切のプロレタリアにとつての極めて切實な問題になつてゐること、そしてまた益々増大しつつある不満に適當な形態を與へ、大衆をその日常欲求のための闘争に導き得る者のみが、將來労働者階級が闘争のより高度の段階に高まつた時に於ても、その影響力を保持し得ると認定したことを意味してゐる。

大會は單に經濟闘争の指導に充分注意を向けただけでなく、ストライキ×××の問題にも充分な注意を向けた。この點において二つの有害な偏向が我々の間に存在する。一方に於てはストライキが經濟闘争として勃發したならば當然その段階に止まらねばならぬと信ずる同志がある。他方にはまたその發生の如何に拘らずあらゆるストライキに於てすべての政治的要求を掲げねばならないといふ見



解が存する。プロフィンテルン第五回大會は、この二つの極端な見解を排撃した。大會は、現在に於ては經濟闘争には主力を注がねばならぬが、それは經濟を政治から切り離すためではなく、現在の具體情勢より出發して日常要求を、一般的階級的な要求に結びつけるためである。そしてその結びつきは機械的方法によつてではなく、辯證法的にされねばならない。即ち、當該要求が何時如何なる時に掲げ得るか理解されねばならないし、ストライキ及び大衆の心理に於ける一切の轉換、階級敵の一切の行動が、原始的な經濟的要求を一聯の政治的要求で捕足する爲に利用されねばならない。

ストライキ運動を×××することは、プロフィンテルン支持者の最も重大な任務の一つである。だがストライキを×××するためには我々は先づそれを指導することを學ばねばならない。それではければ×××の代りに強化が行はれるのみだ。

正しくストライキ運動に關聯してプロフィンテルン第五回大會は、右翼偏向に對し、左翼的誤謬に對し烈しい打撃を與へねばならなかつた。プロフィンテルンの内部には労働組合が二三の國に於て社會ファシスト達的手中に落ちてをり、社會ファシスト達が、ストライキ運動を窒息させること、ストライキを起させぬこと、乃至はストライキの鋭鋒を挫かんがためにのみその先頭に立つことに全力を注いでゐるのをよく知つてゐながら、尙且つストライキは自分の問題ではなく労働組合の問題だと主張する役員が依然多數に存在する。それにも拘らず右翼は、『労働組合が經濟闘争を指導せねばなら

ない』と、鸚鵡のやうに一つことを喋舌つてゐる。これこそ最も愚劣な日和見主義である。それは組織崇拜主義であり、歴史的に成立した組織を禮拜するものであり、また改良主義労働組合がストライキ破りの組織に轉化し企業家の手中に握られた道具と化してしまつたと云ふ事實を認めないものである。この理論は、改良主義組合官僚が資本家の抑壓及び搾取を増大せしめる爲に組合を利用することを支持するに等しい。労働組合法主義は非常に多くの方面を持つてゐる。それはあらゆる日和見主義者と同様に朦朧たる模糊たるものであることが往々あるが、それ故にこそ却つてそれは階級闘争の展開にとつて最も危険なるものである。右翼偏向は、革命的労働組合運動の組織内の二三の小細胞が社會民主主義の影響を受けたこととの表はれなのであるが、それに對する闘争は最大の精力を以て遂行されねばならない。これが主要の危険であり、それに對して攻撃の主力が向けられねばならない。

だがそれと同時に大會は、左翼的誤謬の存在を指摘せねばならなかつた(メルケル)。この左翼的誤謬は、吾々の勢力を過重評價し下からの統一戦線の非常な重要性を見逃したことに、また改良主義組合の指導者と同組織の平組合員とをごつちやにしたことにある。この立場は、吾々の諸組織と最も廣汎な大衆との關係にとつて一の危険であるが故に、當然吾々にとつて徹底的に排撃されねばならない。大會は、右翼的偏向と左翼的誤謬とを批判し、加何にして正しい革命的戦術からの偏向と闘ふかについで全革命的労働組合運動に指示した。



第五回大會は、資本主義諸國に關するその諸決定に於ても植民地諸國に關する決定に於いても、經濟闘争の獨立的指導から出發した。プロフィンテルン支持者の活動形態及び方法はこの主要任務達成に奉仕するものだ。それ故、第五回大會に於ては獨立的組合を組織的に鞏固化しまた建設すること、一切の國々に於て労働組合反對派を形成すること、あらゆる反動組合内に於ける活動を高めることが特に強調された。

ドイツ及びポーランドでは『改良主義組合に入れ！』のスローガンを撤回して、未組織労働者に直接に労働組合反對派への加盟を呼びかけるべきだといふ第五回大會の決定は、特別の注意に値する。第五回大會は、この決定が労働組合からの脱退を意味するのではなく、その内部に於ける活動の増進を意味するものであることを特に烈しく強調した。またその一方大會は、革命的労働組合運動の獨立的機關を下から上まで創設する方針、労働組合反對派を工場基礎の上に建設された大衆組織に轉化する方針をとるやうに、ドイツ及びポーランドに於けるプロフィンテルン支持者に指令を與へた。

これが爲には、ドイツ、ポーランドに於ては、全勢力を結集統合する爲、工場内に反對派グループを創設するため労働組合の指導機關を工場内のみでなく、地方、大地方、全國委員會内に縦横の兩方

向に沿つて完成する爲の強力な活動を、労働組合の外で行ふことが必要である。

既にブランドラー派は、『改良主義組合に入れ！』のスローガンの撤回に關して悲鳴をあげてゐる。彼等には、何時も同じスローガンを時と所にはお構ひなく無限にまた無意味に繰り返し得るだけなのだ。統一労働者總同盟の陣列内に於けるアムステルダムの代理人、フランスの右翼もまたこれに負けずに騒ぎ立てゝゐる。だがこれらの社會民主主義の代理人共のこの騒ぎはどんな意義を持つものなのだらうか？ 彼等の『革命の見解』や『聰明さ』は吾々のよく承知してゐる所である。彼等こそ、經濟闘争の獨立的指導へのプロフィンテルン第四回大會の方針に反對し、大衆は革命化してゐないとか、革命的昂揚は存在しないと主張した奴等なのだ！

プロフィンテルン大會の討論中で著しく廣汎な部分を占めたものは、植民地及び半植民地に於ける労働組合の任務である。全植民地世界、即ち支那、印度、ラテン・アメリカ、アフリカ、東方アラビヤ諸國は巨大なる激動に促へられてゐる。到る所で労働者農民大衆が反帝國主義の闘争に起つてゐる。植民地半植民地の人口は地球の全人口の三分の二を越えてゐる。だから資本主義的諸關係の不均等な成立、労働者階級の比重、労働運動の發展度等に關して植民地半植民地が多種多彩の態を呈してゐる



のは不思議ではない。全植民地世界にとつての主要問題は、激動は最も發展せる諸國（印度、支那）を促へると共に、太古的原始的な生活状態にあるアフリカ植民地（ガンビア、ニヂェリヤ）をも促へたといふことである。

植民地半植民地に於けるプロフィンテルン支持者はどんな基本的任務に當面してゐるか？ 労働者組織を完成すること、労働者組織及び全労働者階級を民族改良主義より解放すること、労働者運動内に於ける民族ブルジョアジー及び帝國主義の手先たる民族改良主義の左翼に對して闘ふこと、民族ブルジョアジー及び帝國主義より獨立せる労働者運動を發展せしめること、經濟闘争を展開してそれと帝國主義及び土着ブルジョアジー反對の政治闘争とを結びつけること、土地のための農民大衆の闘争を支持すること、帝國主義を顛覆し労働者階級のヘゲモニーの下にプロレタリアート及び農民の革命的民主主義的獨裁を樹立すること——これらが一切の植民地半植民地の最も重大な任務である。尙情勢に應じ、階級闘争の緊張度、運動の一般的規模に應じてまた各國の組合の特別の特殊の任務が生じて来る。この理由からして大會は、支那、印度、フィリッピン、インドネシア、東方アラビア諸國、印度支那のために特別の方針を指示した。

勿論、夫々の國で解決さるべき特殊の任務は、植民地半植民地の労働者階級の一般的任務に従屬させられねばならない。

第五回大會は、全革命的國際労働組合運動のために、方針を作製した後、組織問題に多くの時を費した。獨立的組合の強化、労働組合反對派の完成、ストライキ指導部、闘争委員會、外國労働者間の活動、非合法的状況下の活動、植民地諸國に於ける組織問題、等々——すべてこれらは第五回大會の諸決定の中に見出される。

勿論、第五回大會は組織問題の分野に於て何等か特殊なものを見出しはしなかつた。そしてまたテロゼ作製の場合の任務もさうした點にあるのではない。この場合なさるべきことは、組織の見地から革命的労働組合組織の状態を批判し、その陣列の強化のための手段方法に關してプロフィンテルンの全支部に指示を與へることなのだ。この組織的強化は日常闘争と分離することは出来ないし、またしてはならない。『先づ吾々の陣列を組織的に強化し、しかる後始めて經濟闘争を指導する』とか『先づ經濟闘争を指導し、而る後吾々の陣列を強化する』とか云つてはならない。かゝることは、この場合にもまた如何なる場合にも組織形而上學に過ぎないであらう。

吾々は吾々の陣列の組織的強化を延期することは出来ないし又してはならない。吾々がどの程度まで吾々の陣列を系統的に強化し、この強化を大衆を促へつゝあるストライキ運動を展開せしめることに結びつけ、あらゆるストライキ、あらゆるグループを強固に定着せしめ、吾々の政治的影響に組織形態を與へ得るか、それに應じて吾々は、現在革命的労働組合運動が當面する巨大なる任務を遂行し



得るのである。

五二二

サヴェートのプロレタリアートの状態や社会主義建設の状態は世界の隅々から大会に出席して来た代議員の深甚な興味を呼び起さざるを得なかつた。この故に社会主義建設に於けるサヴェート労働組合の役割の問題は全大会の非常な興味を呼んだ。外国から到着した代議員は、すべて、世界の新聞がサヴェート同盟について書いてあることの中にどれ程の眞實とどれ程の嘘が含まれてゐるかを、目の當り確かめようと欲した。この検討は二つの形に組織された。即ち、先づ第一に大会は工業及び農業の状態、労働者階級の状態について詳細な報告を聴取した。第二に大会の全代議員は、社会主義建設が實際には如何に映するかを見る爲にサヴェート同盟内の旅行を企画したのである。吾々の敵はこれに關して、サヴェート同盟に来る外國人は不幸にして現實にあるものを知り得ない状態に置かれる云々と一般に言ふを常とした。だがこのお伽噺は段々聞かれなくなつた。プロレタリア獨裁の國存立十三年の今日ではこんなお伽噺は最早何等の感銘を残さない。それは、主として、サヴェート同盟を訪れる者には労働者代表ばかりでなく資本の代表者もあり、彼等が歸國後その同僚に不愉快な事實を傳へるのによるのである。それについてはイギリス、アメリカ、ドイツ、フランスの雑誌で讀むことが出来る。



最も不愉快なことは、五ヶ年計畫は寓話ではなくて不穩な現實だといふことである。ブルジョアジの代表者がこの現實を認めざるを得ないのならば、何のために労働者がそれを否認するであらうか？ 代議員達は後に、サヴェート同盟で見たいものについて自己の選挙者に自ら語るであらう。

大會がサヴェート同盟の状態に最大の注意を拂つて、それがサヴェート同盟をXXプロレタリアートのXXと考へる旨を宣言し、すべての意識的プロレタリアはプロレタリア獨裁のXをXXプロレタリアートのXからXらねばならぬと宣言したことを同じく今特筆する事は、吾々にとつて重要なことである。

狂氣じみた軍備やファシスト的反動の増大に面するとき、戦争の危険に對する闘争とサヴェート同盟XXに關する大會の決定は非常な意義を持つてゐる。

\*

\*

\*

\*

第五回大會の直後、この上なく重要な一聯の會議が開催された。それは、革命的國際労働組合運動の一層の發展にとつて非常な意義を持つものである。

中にも、金屬労働者、鑛山労働者、運輸労働者、木材労働者、印刷工、建築労働者、皮革労働者、化學労働者、公共企業労働者、使用人、食料品労働者等の十四の産業別會議が注目に價する。これ等



の會議は、革命的國際勞働組合運動の勢力を縦の方向に鞏固化し、今後の行動方針を各産業について作製し、國際宣傳煽動委員會の産業別インタナショナルへの轉形のための有利な狀況を招來するといふ任務を持つてゐた。

これらの會議でなされた仕事はプロフィンテルンにとつて大なる意義を持つてゐる。何となればプロフィンテルンは縦に強大化し、自己の勢力を高め、またこの廣汎な組織の網を通じて萬國の勞働者大衆の中に入り込む可能性を得たからである。

國際婦人勞働者會議、國際青年會議及びラテンアメリカ勞働組合會議もまた非常に重要なものである。これらの會議に於ては、一方には婦人及び青年の間の特種な活動について、他方にはラテンアメリカの勞働者階級の結合と結集との方法について討議が行はれた。この三つの會議は、疑ひもなく、婦人勞働者、青年勞働者及びラテンアメリカの勞働者の間の革命的勞働組合運動の發展に於ける重要な道程標である。

第四回大會は、國際婦人勞働者委員會及び青年勞働者書記局を創つた點に於いて偉大なる一步前進を行つた。だが、それはまだ端緒にしか過ぎなくて、その活動は更に一段と續行されねばならなかつた。吾々は、青年勞働者及び婦人勞働者の前に經濟闘争への彼等の參加の問題を展開し、資本主義的合理化の結果生産内に引き込まれながらもプロフィンテルンの陣列外に立つてゐる若いプロレタリア



とプロレタリア婦人とを組織せねばならなかつた。これは、社會ファシズムが青年労働者の陣列内に喰ひ入らうと試みてゐる現在、特に重要である。またブルジョア政黨、社會民主黨、ファシストが婦人労働者の上に基礎を作らうと試みてゐるのだから、殊更重要である。

十六ヶ國を代表したラテンアメリカ労働組合會議は特に重要である。その代表状態に於いて、討議された問題の數や討論の性質に於いてこの會議は、モンテヴィデオの大會にひけをとらず、ラテンアメリカ労働聯盟へと組合を一層結成し、プロフィンテルンの革命的旗幟の下に勢力を結集するためのよき刺戟として役立つであらう。

産業別會議、大陸別會議や被搾取者の各部類別（婦人労働者、青年労働者）の會議の試みは、何時でも極力歓迎すべきものである。何となれば、それはプロフィンテルンが大衆の中により深く入り込み、プロレタリアートの新たな部分を運動に引き入れることを可能にするからである。

\*

\*

\*

\*

第五回大會は、プロフィンテルン十年の存立の成果を綜括した。

若し吾々が、吾々の敵の聲や、革命的労働組合の成員の中でも新しい問題があることに動搖するやうな者の聲に耳を傾けてゐたならばプロフィンテルンは成立せず終つたであらう。



それが十年の間存立した今日、吾々は、最初の數年に於いて二三の共產主義者までもが提起した質問——プロフィンテルンの創設は必要であつたか、と云ふ質問に對して答へを與へることが出来る。

十年経つた今日、吾々はそれに對して容易に答へることが出来る——即ち、歴史がコミンテルン及びサヴェート同盟労働組合中央評議會のイニシアティブを正しいものと確認した、歴史が當時なされた國際情勢の分析の正しさを確認した、と。プロフィンテルンは一の煽動宣傳の小中心から世界組織へと轉化した。プロフィンテルンは世界の労働者運動の中に於ける重大な力となつた。プロフィンテルンの個々の支部は幾多の敗北を蒙りはしたが、それにも拘らずプロフィンテルンは唯一の國際労働組合である。アムステルダム・インタナショナルは單に形式上に於いてインタナショナルと呼び得るだけである。何となれば、帝國主義的利益や民族的利益を労働者階級の利益より上に置くやうな組織はインタナショナルではないからである。

世界の労働者運動はこの十年間に巨大な進歩をなした。階級對立は益々激化する。大衆の急進化の過程は急速なテンポで展開してゐる。全資本主義世界及び植民地世界は一の激動に促へられてゐる。革命的昂揚は不均等にはあるがあらゆる大陸に於いて觀取される。この情勢の下、擴大する階級闘争の情勢の下、急速に成長する革命的昂揚と一聯の植民地革命との情勢の下に於いて、廣汎な大衆を包括する組織としてのプロフィンテルンの役割もまた著しく擴大しつゝある。



第五回大會は國際革命的労働者運動に強力な拍撃を與へた。大會は今後の闘争の道を規定し、ハッキリした行動綱領を作製した。大會は、如何にして大衆の先頭に立つべきかについて指示した。大會は如何にして經濟闘争を政治闘争に轉化すべきかについて指示を與へた。

正にこの理由によつて、プロフィンテルン第五回大會は國際労働者運動について甚だ重要な地位を占める。それは自己批判の大會、闘争の大會、プロレタリアートの逆襲の組織の大會であつた。そしてこゝにこの大會の歴史的意義がある。(川原譯)

〔ローテ・ゲヴェルクシャフト・インテルナチオナール〕誌、一九三〇年、九—十月號所載〕



昭和六年拾月五日印刷  
昭和六年拾月拾日發行

著作權



所有

〔定價壹圓三十錢〕

譯者 希望閣編輯部

發行者 市川義雄  
東京市神田區今川小路三ノ六

印刷者 內田廣藏  
東京市外戶塚町下戶塚二四〇

發行所

東京市神田區今川小路三ノ六  
振替東京六七五一九番

希望閣

【行印所刷印原萩】



希望閣出版書目 (一九三一・四現在)

Table of book titles and prices on the right page, including authors like 佐野 啓介 and 高橋 謙吉, and titles such as 'レーニン 戦時下の唯物論的唯物的体系'.

Table of book titles and prices on the left page, including authors like 佐野 啓介 and 高橋 謙吉, and titles such as 'レーニン 戦時下の唯物論的唯物的体系'.







12-1N  
-50

¥130



終